Panasonic®

取扱説明書
デジタルカメラ

品番 **DMC-TZ3**

LEICA DC VARIO-ELMAR

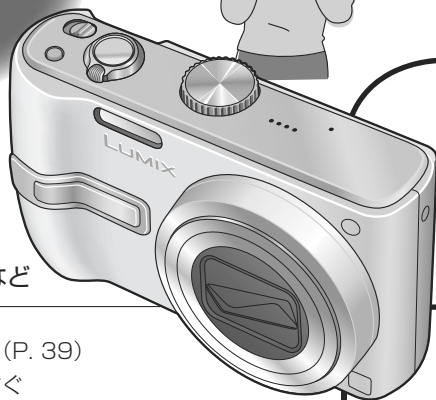
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(6 ～ 9 ページ)を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
●製品のイラストや画面は、実物と異なる場合があります。

保証書別添付

VQT1B60 -1

大切な瞬間を楽しくカンタンに撮る·見る·残す

撮る
(P. 24)

SD メモリーカード(別売)

ズームで撮る
(P. 27)
遠くの人も大きく
「光学 10 倍ズーム」など

ブレずに撮る (P. 39)
手の揺れによる失敗を防ぐ
「手ブレ補正」

きれいに撮る (P. 46)
暗い場所や速い動きに
「インテリジェント ISO 感度モード」

動画を撮る
動きのあるシーンに「動画撮影モード」(P. 47)
お好みの瞬間を写真(静止画)に(P. 63)

旅で撮る
旅行に便利な「トラベル日付」(P. 48)
「ワールドタイム」(P. 49)
「メモモード」(P. 58)

各機器に SD メモリーカード
スロットがある場合は、
カードを直接スロットへ！

（または、AVケーブル（付属）で接続）

テレビで…

大画面で
見る（再生）
（P. 79）

（または、USB 接続ケーブル（付属）で接続）

プリントで
残す
（P. 68、76）

ご家庭のプリンターで… ●手軽にプリント。
（PictBridge（ピクトブリッジ） 対応のプリンター）

写真店で… ●カードを渡してプリント。

さらに **活かす、残す！**

（または、USB 接続ケーブル（付属）で接続）

パソコンで…
●メール送信。
●ハードディスクに残す。
プリントする。

DVDレコーダーで…
●DVD やハードディスクに
残す。

（または、AVケーブル（付属）で接続）

もくじ

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、
区分表示しています。

	危険	「死亡や重傷など、危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	「死亡や重傷などの可能性が想定される」内容です。
	注意	「傷害や物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。		必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

液もれ・発熱・
発火・破裂による
けがを防ぐために

バッテリーパック※は、誤った使い方をしない（※以降は、「バッテリー」と表記）

●指定外のものは使わない。
●分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない。
●炎天下（特に真夏の車内）など、高温になる所に放置しない。
●右図の端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない。

チャージャー（充電器）は、本機専用のバッテリーにのみ使用する

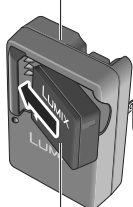
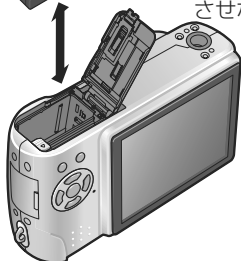
バッテリーは、正しく使う

●専用のチャージャーで充電する。
●保管や持ち歩きには、付属のキャリングケースに入れる。

■バッテリーの液もれが起こったら
•お買い上げの販売店にご相談ください。
•液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。
•液が目に入ったら、失明のおそれがあります。
すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

⚠ 警告

電源コンセント
(交流100V ～ 240V)

チャージャー

バッテリー

チャージャーは、誤った使い方をしない

●加工しない・傷つけない。
●熱器具に近づけない。
●傷んだら使わない。
●差し込みがゆるい電源コンセントには使わない。
●たこ足配線や定格外(交流100V～240V以外)で使わない。
●ぬれた手で抜き差ししない。

チャージャーの電源プラグは、正しく扱う

●定期的に乾いた布でふく。(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因に)
●根元まで確実に差し込む。

雷が鳴ったら、触れない

本体やチャージャーには、金属部があります。

分解や改造はしない、ぬらさない、異物を入れない

内部には、電圧の高い部分があります。

異常時には、バッテリーを外す

•内部がぬれたり、金属や異物が入ったとき
•外装ケースが破損したとき
•煙や異臭、異音が出たとき

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

事故を防ぐために

乗り物を運転しながら使わない

歩行中も周囲や路面の状況に十分注意してください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人(高齢者)などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

メモリーカードは乳幼児の手の届く所に置かない

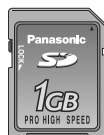
万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。

目の傷害ややけど、事故を防ぐために

フラッシュ発光部は、至近距離(数 cm)で直接見ない

AF 補助光も直接見ない、発光直後に直接触らない。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

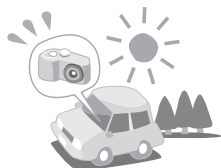
本機からの電磁波などが、計器類に影響をおよぼすことがあります。

メモリーカード(別売)

⚠ 注意

火災や感電を
防ぐために

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

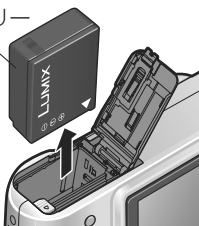
次のような場所に放置しない

- 異常に温度が高くなる所（特に真夏の車内やトランクなど）
- 油煙や湯気の当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 重いものの下
- 足元など、誤って踏んでしまうような所

下記により、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 高温になる場所や重量物の下などに置くことによる製品の劣化や破損
- 油や水分、ほこりによる通電
- 本機に乗っての転倒

次のときは、バッテリーを取り出す

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

■不要（寿命）になったバッテリーは、リサイクル協力店へ（P. 93）
■修理や点検、異常時は、そのまま使わず、お買い上げの販売店にご相談ください

ご使用の前に

まず、お読みください

■必ずためし撮りを！

●事前に撮影や録音（動画や音声付き静止画（P. 53））ができるか、確認してください。

■撮影や録音（動画や音声付き静止画）の失敗や損失､直接的・間接的な損害は補償いたしかねます

●本機やカードの不具合による場合でも、補償いたしかねます。

■著作権に気をつけてください

●撮影した画像は、個人で楽しむ以外は､権利者に無断で使用できません。
●個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。

■再生できない場合があります

●パソコンで編集をした画像。
●他機で撮影や編集をした画像。
（本機で撮影や編集をした画像も、他機では再生できないことがあります）

■付属の CD-ROM のすべてのソフトウェアについて

次の行為は禁止されています。
●営業目的の複製（コピー）。
●ネットワークへの転載。

故障や不具合を防ぐために

■衝撃や振動、圧力を避ける

●落としたり、ぶつけたり、ポケットに入れたまま座ったり、強い振動や衝撃を与えたりしない。
●レンズ部や液晶モニターを強く押さえない。

■ぬらさない、異物を入れない

●水や雨、海水をかけない。（ぬれたら乾いた柔らかい布でふく。海水などは、先によく絞った布でふく）
●レンズ部や端子部にほこりや砂など、また、ボタンのすき間から液体などが入らないようにする。

■温度や湿度の急激な変化による“つゆつき”を避ける

●温度や湿度に差があるときは、ビニール袋に入れて周囲の温度になじませてから使う。
●レンズがくもったら電源を切り、2 時間ほど放置して周囲の温度になじませる。
●液晶モニターがくもったら柔らかい乾いた布でふく。

■液晶モニターの特性について

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については 99.99% 以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けするものがあります。またこれらの点は､内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

付属品

■持ち運びのとき

●電源を切る。
本革ケース(別売：DMW-CT3)
をおすすめします。

レンズ部

●太陽に向けたまま放置しない。
●汚れたら、柔らかい乾いた布
でふく。

■付属品は、販売店で
お買い求めいただけます

松下グループのショッピングサイト
「パナセンス」でもお買い求めいただ
けるものもあります。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

■別売品のご紹介 (P. 80)

メモリーカードは、別売です。

(品番は 2007 年 3 月現在)

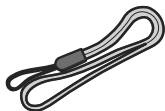
□バッテリーパック
DMW-BCD10
(P. 14)

(本書では、「バッテリー」と表記します)

□バッテリー
チャージャー
DE-A45A
(P. 14)

(本書では、「チャージャー」と表記します)

□バッテリー
キャリングケース
VYQ3680
(P. 93)

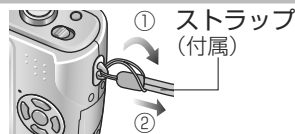
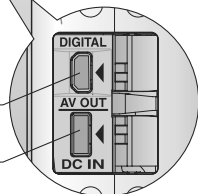
□ストラップ
VFC4090
(P. 12)

□USB 接続ケーブル
K1HA08CD0016
(P. 74、76)

□AV ケーブル
K1HA08CD0017
(P. 79)

□ CD-ROM

CD-ROM の以下のソフトウェアを
「付属のソフトウェア」と表記します。
● LUMIX Simple Viewer
● PHOTOfunSTUDIO-viewer-

各部の名前

電源スイッチ（P. 18）
手ブレ補正ボタン
（P. 39）
シャッター（P. 24）
ズームレバー（P. 27）
フラッシュ発光部
（P. 36）
レンズ（P. 11）
開閉レバー（P. 15）
三脚取付部
カード / バッテリー扉
（P. 15）
セルフタイマー
（P. 35）/
AF 補助光ランプ
（P. 56）
レンズ鏡筒
ストラップ取付部
① ストラップ
（付属）
②
スピーカー（P. 22）
マイク
（P. 47、53、70）
液晶モニター
●バッテリーやメモリーの残量確認など（P. 25）
●表示の切り換え（P. 33）
●表示内容一覧（P. 82）
動作表示ランプ
（P. 15、24）
DISPLAY/LCD MODE
ボタン（P. 33、34）
FUNC
（クイック設定：P. 57）/
削除（P. 32）ボタン
DIGITAL/
AV OUT 端子
（P. 74、76、79）
DC IN 端子
（P. 74、76）
DIGITAL
AV OUT
DC IN

モードダイヤル

使用するモードに確実に合わせる

（ご使用時、モードを変えると液晶モニターに表示）

通常撮影モード
撮影する。（P. 24）

インテリジェント ISO 感度モード
被写体の動きや明るさに合わせて撮る。（P. 46）

再生モード
撮った画像を見る／活用する。（P. 31、61）

かんたんモード
初心者の方におすすめ。(P. 28)

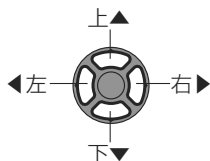
SCN1 SCN2 シーンモード
場面に合わせて撮る。(P. 40)

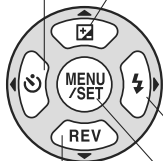
メモモード
メモとして撮る / 見る。(P. 58)

プリントモード
プリントする。（P. 76）

動画撮影モード
動画を撮る。（P. 47）

マクロモード
近づいて撮る。（P. 46）

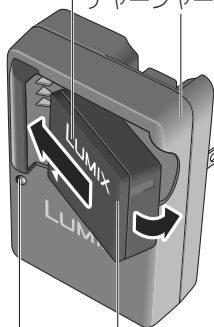
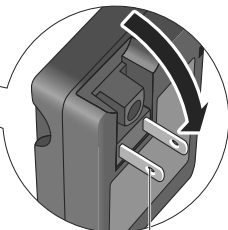
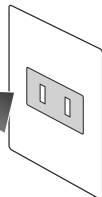
上下左右の選択

本書では、押すボタンを図のように白色で、または、▲▼◀▶で説明しています。

セルフタイマー（P. 35）

●露出補正（P. 38）
●オートブラケット（P. 38）
● WB 微調整（P. 51）
●逆光補正（P. 28）

フラッシュ（P. 36）

MENU/SET（メニュー/セット）
（メニュー表示 / 決定）（P. 18）

撮った画像をすぐ見る（レビュー）（P. 30）

準備 1 充電する ご使用の前に、必ず充電！ (お買い上げ時には、充電されていません)

①チャージャーに取りつける。
("LUMIX" の表示を手前に)

②電源プラグを起こして、電源コンセントへ。
●充電が完了したらチャージャーやバッテリーを外す。

充電ランプ（CHARGE）

●**点灯** : 充電中（約 120 分）　●**消灯** : 充電が完了

●**点滅**したら :
- ●バッテリーの温度が低すぎる、または高すぎる。
  →そのまま充電できますが、室温になじませるため、通常より時間がかかります。
- ●バッテリーやチャージャーの端子が汚れている→乾いた布でふき取る。

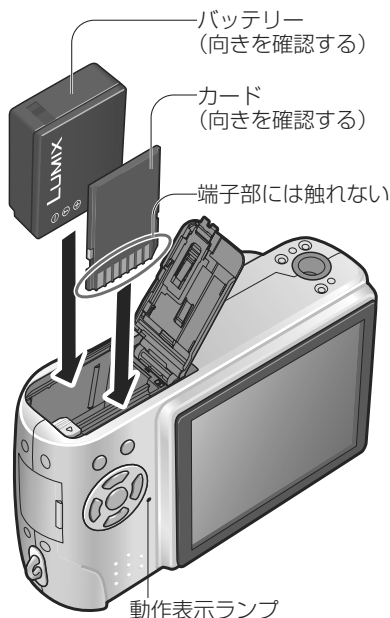
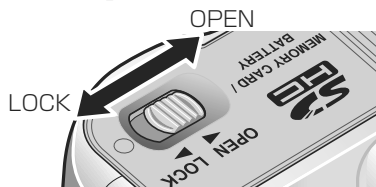
■バッテリーの寿命（目安）

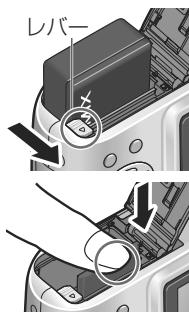
●**記録可能枚数　約 270 枚**（30 秒間隔撮影）※（約 135 分に相当）
※ CIPA 規格（P. 93）に基づく値。
（撮影間隔が長くなると枚数は減り、例えば 2 分間隔では 67 枚になります）

●**再生可能時間　約 260 分**

撮影間隔が長いときやフラッシュやズーム、パワー LCD などを多用した場合、または寒冷地などでも使用時間が短くなることがあります。
（実際の使い方により異なります）

●充電中や充電後は、バッテリーが温かくなります。
●充電後でも、長期間放置すると、使わなくてもバッテリーを消耗します。
●バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できます。
●著しく使用できる時間が短くなったときは、新しいバッテリーをお買い求めください。

準備 2 バッテリーやカードを入れる

①電源スイッチを「OFF」にする。
②「OPEN」にして、扉を開ける。
③バッテリーやカードを奥まで
入れる。（「カチッ」と音がするまで）
④閉める。
●「LOCK」にする。

■取り出すとき
●バッテリーは
レバーを矢印
方向へ。

●カードは
中央を押す。

■使えるカード（別売）について
●SD 規格に準拠した次のカード（当社製推奨）
●SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
●SDHC メモリーカード(4GB)→P. 80
（SDHC ロゴのない 4GB(以上) のカードは SD 規格に
準拠していません）
→記録可能枚数・記録可能時間：P. 94
→品番・種類：http://panasonic.jp/support/dsc
●マルチメディアカード（静止画のみ対応）

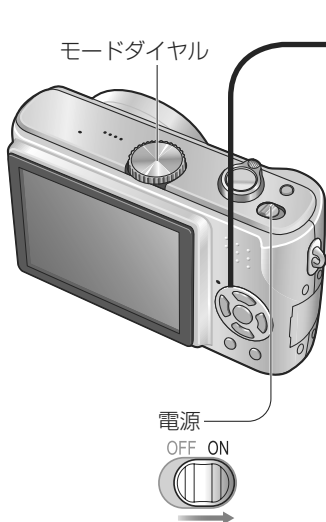
SDHC ロゴ

SDHC メモリーカード

お願い

●カードやバッテリーの取り出しは、電源を切り、動作表示ランプが完全に消えてから行ってください。
（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）
●miniSD カードは、専用アダプターが必要です。アダプターだけを入れたままにしないでください。（正常に動作しません）

準備 3 時計を設定する

電源を入れる前に、モードダイヤル(P. 13)を通常撮影モード[📷]に合わせてください。
お買い上げ時、電源を入れると**「時計を設定してください」**と表示されます。

●時計設定をしないと、お店にプリントを依頼したり、日付焼き込み（P. 66）をした場合に正しい日付がプリントされません。（P. 76）

●時刻は 24 時間表示です。2000 年から 2099 年まで対応しています。

●時計設定はバッテリーを取り出しても、約 3 ヵ月記憶します。（満充電のバッテリーを入れて約 24 時間経過したとき）

●電源を入れ直し、時計表示を確認してください。

■時計を変更するとき

➡セットアップメニュー（P. 18）で「時計設定」を選び、

上記❷、❸を行い、[SET] を押す。

■海外旅行先の時刻を設定するとき

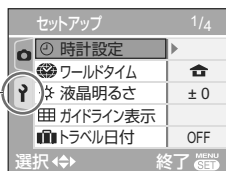
➡「ワールドタイム」(P. 49)

準備 4

より便利に活用するために…

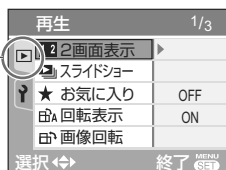
メニューの種類を知る

お好みの撮影や再生ができるように設定したり、より楽しく、使いやすくするためのメニューを用意しています。
特に「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。
ご使用の前に、設定を確認してください。

■本機をより便利に使いたい（セットアップメニュー）（P. 20）

●時計設定や操作音を切り換えるなど、使いやすさの設定ができます。
●使えるモード(P. 13): SCN1 SCN2

■お好みの設定で撮影したい（撮影メニュー）（P. 50）

●色合いや感度、横縦比、画素数などが設定できます。
●使えるモード(P. 13): SCN1 SCN2

■撮った画像を活用したい（再生メニュー）（P. 64）

●画像の回転や保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定（DPOF）など、撮影した画像に対して設定ができます。
●使えるモード(P. 13):

ほかにも、以下のメニューがあります。

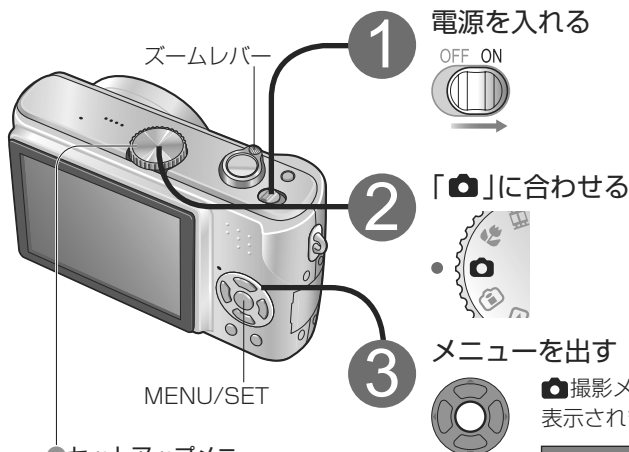
■夜景など、場面に合わせて最適な設定で撮影したい

➡ シーンメニュー（P. 40）

■初心者向けに、簡単に画質などの設定を変えたい

➡ かんたんモードメニュー（P. 29）

準備 5 メニューを設定する

設定例：セットアップメニューで「パワーセーブ」を「5 分」から「2 分」に変える場合。
（「パワーセーブ」とは、バッテリーの消費を防ぐために、しばらく操作しないと自動的に電源を切る機能です）

●セットアップメニュー
使えるモード：
(カメラ) (iA) (マクロ) SCN1 SCN2 (動画) (再生)

●撮影メニュー
使えるモード：
(カメラ) (iA) (マクロ) SCN1 SCN2 (動画)

●再生メニュー
使えるモード：(再生)

1 電源を入れる

2 「(カメラ)」に合わせる

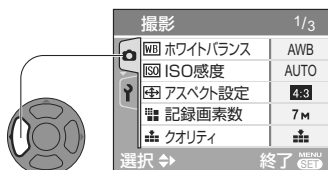
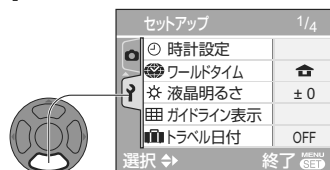
3 メニューを出す

(カメラ)撮影メニューが、まず表示されます。（P. 50）

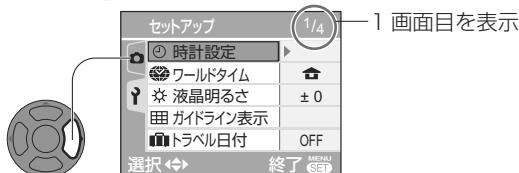
3 画面のうち、最初の画面を表示。（ズームレバーで画面を送れます）

4 セットアップメニューを選ぶ

(カメラ) を選ぶ（オレンジ色にする）

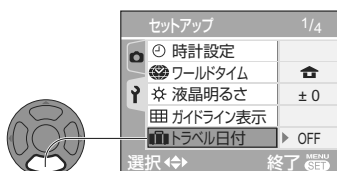
撮影	1/3
WB ホワイトバランス	AWB
ISO ISO感度	AUTO
アスペクト設定	4:3
記録画素数	7M
クオリティ	
選択	終了 MENU SET

(セットアップ) を選ぶ（オレンジ色にする）

ここでは、セットアップメニュー（P. 20）の設定方法を説明していますが、
撮影メニュー（P. 50）や再生メニュー（P. 64）も同じ方法で設定できます。

5 項目に移る

「時計設定」を選ぶ（オレンジ色にする）

6 項目を選ぶ

一番下の項目を選び、さらに▼を押す

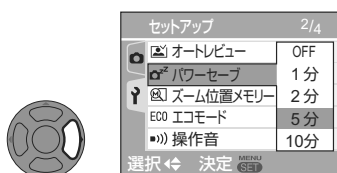
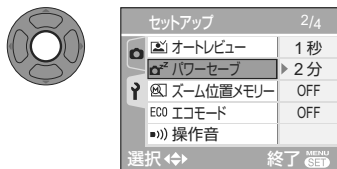
「パワーセーブ」を選ぶ

2 画面目を表示

7 設定を変える

設定を表示する

「2 分」を選ぶ

8 決定する

セットアップ 2/4
オートレビュー 1 秒
パワーセーブ 2 分
ズーム位置メモリー OFF
エコモード OFF
操作音
選択 終了

9 終了する

●お買い上げ時の設定に戻したいとき→「設定リセット」（P. 22）

●項目によっては、手順❼で設定が表示されないもの（再生メニューの「画像回転」など）や、設定の表示のしかたが上記例と異なるもの（セットアップメニューの「ワールドタイム」など）があります。

準備 6 セットアップメニューを使う

「時計設定」「オートレビュー」「パワーセーブ」「エコモード」は、日時や電源などに関する大切な項目です。使う前に必ず設定を確認してください。

項目	こんなとき・操作
時計設定※1､2	日時を合わせたいとき。
ワールドタイム※1､2	海外旅行先の日時を設定したいとき。（P. 49）
液晶明るさ※1､2	液晶モニターの明るさを調整したいとき。（7 段階）
ガイドライン表示	撮影時のガイドラインのパターンを変えたいとき。 ガイドライン表示時に撮影情報やヒストグラムを同時に表示したいとき。（P. 33）
トラベル日付※1､2	旅行の経過日数を記録したいとき。
オートレビュー	**撮影直後に画像を自動表示したいとき。** ●表示時間（秒）を選ぶ。 ●「ZOOM」はピントの確認に便利です。
パワーセーブ	**使用しない間、自動で電源を切りたいとき。** （バッテリーの消費を防ぐ） ●再度使うとき：[シャッター] 半押し、または電源を入れ直す。
ズーム位置メモリー※1､2	電源を切ったときのズーム倍率を記憶させたいとき。
ECO エコモード	**撮影時、バッテリーの消費を防ぎたいとき。** （液晶モニターを暗くしたり、使用しない間自動で液晶モニターを消します） ●フラッシュ充電中も消灯。 ●消灯中は動作表示ランプ点灯。 ●再度使うとき：いずれかのボタンを押す。

時計の設定や電池を長く使うための設定、操作音の切り換えなど、カメラ本体の設定ができます。（設定方法：P.18）
●［　　　］で囲んでいるものは、お買い上げ時の設定です。

●※1 の項目の設定は、かんたんモード［❤］(P. 28）にも反映されます。
●※2 の項目の設定は、メモモード［ ］（P. 58）にも反映されます。

設定・お知らせ
●年月日、時刻を合わせる。（P. 16）
（旅行先）／［ ］（お住まいの地域）
－3・・［±0］・・＋3
撮影情報：［OFF］／ON　ヒストグラム：［OFF］／ON　パターン：［ ］／ ●メモモード(P. 58)では「パターン」を選べません。また、撮影情報やヒストグラムは表示できません。 ●かんたんモードでは表示されません。
［OFF］／設定（P. 48）
OFF ／［1 秒］／3 秒／ZOOM（1 秒表示後 4 倍拡大で 1 秒表示） ●シーンモードの「自分撮り」(P. 42)、「オートブラケット」(P. 38)、「連写」(P. 55)、音声付き静止画(P. 53)は、設定にかかわらずオートレビューされます。 ●動画はオートレビューできません。
OFF ／1 分／ 2 分 ／［5 分］／ 10 分（パワーセーブが働くまでの時間を選ぶ） ●以下のときは働きません。 AC アダプター（別売：DMW-AC5）使用時、パソコン・プリンター接続時、動画撮影・再生時、スライドショー中（ただし、スライドショー一時停止中、「MANUAL」スライドショー中は、10 分に固定） ●「エコモード」設定時は、「2 分」に、かんたんモード（P. 28）メモモード（P. 58）では「5 分」に固定されます。
［OFF］／ ON（記憶させるとき） ●ピントの位置は記憶できません。 ●シーンモードの「自分撮り」では解除され、設定できません。
［OFF］／ LEVEL 1（約 15 秒間操作しないと消灯）／ LEVEL 2（約 15 秒間または撮影後約 5 秒間操作しないと消灯） ●以下のときは働きません。 かんたんモード、メモモード、AC アダプター（別売：DMW-AC5）使用時、メニュー画面表示中、セルフタイマー設定中、動画撮影中。 ●「パワー LCD」または「ハイアングル」(P. 34）動作中は、液晶モニターは暗くなりません。

セットアップメニューを使う（続き）

項目	こんなとき・操作
操作音※1、2	操作音を変えたいとき、消したいとき。
シャッター音※1、2	シャッター音を変えたいとき、消したいとき。
スピーカー音量※2	スピーカーからの音量を調整したいとき。（7 段階）
番号リセット※1	画像のファイル番号をリセットして、新たに「0001」から撮影したいとき。 ●ファイル番号・フォルダー番号について（P. 75）
設定リセット※2	セットアップメニュー（P. 20）、 撮影メニュー（P. 50）それぞれを、 お買い上げ時の設定に戻したいとき。
ビデオ出力	テレビ接続時などに、ビデオ出力方式を変えたいとき。 （再生モードのみ）
TV アスペクト	接続するテレビの横縦比を選びたいとき。 （再生モードのみ）
シーンメニュー	モードダイヤルを SCN1 または SCN2 に合わせたとき、シーンメニューを表示させたいとき。
モードダイヤル表示※1、2	モードダイヤル操作を画面に表示したいとき。
言語設定※1、2	表示言語を切り換えたいとき。

●[　　　] で囲んでいるものは、お買い上げ時の設定です。

●※1 の項目の設定は、かんたんモード [♥] (P. 28) にも反映されます。
●※2 の項目の設定は、メモモード [ ] (P. 58) にも反映されます。

設定・お知らせ
音量：(なし) ／ [(小)] ／ (大)　音色：[❶] ／ ❷ ／ ❸
音量：(なし) ／ [(小)] ／ (大)　音色：[❶] ／ ❷ ／ ❸
0・・[LEVEL3]・・LEVEL6 ●テレビ接続時の、テレビのスピーカーの音量は調整できません。
はい（リセットするとき）／いいえ ●フォルダー番号が 999 になるとリセットできません。必要な画像をパソコンなどに保存してからフォーマットをしてください。(P. 73) ●フォルダー番号を 100 にリセットするには：まず、内蔵メモリーまたはカードをフォーマット（P. 73）し、番号リセットでファイル番号をリセットする。その後、フォルダー番号のリセット画面で「はい」を選ぶ。
撮影設定（はい／いいえ）／セットアップ設定（はい／いいえ） ●セットアップ設定をリセットした場合、以下もリセットされます。シーンモードの「赤ちゃん」と「ペット」(P. 44)の誕生日、「トラベル日付」(P. 48)、「ワールドタイム」(P. 49)、「ズーム位置メモリー」(P. 20)、再生メニューの「お気に入り」(「OFF」になる) (P. 65)、「回転表示」(「ON」になる) (P. 66)、メモモードメニューの「メモモード初期画面」(「ON」になる) (P. 60)（かんたんモードメニューでは「操作音」のみリセットされます） ●フォルダー番号、時計設定はリセットされません。
[NTSC]（日本やアメリカなど）／ PAL（ヨーロッパなど）
16:9 ／ [4:3] ●16:9 に設定したとき、AV ケーブル（付属）を接続すると(P. 79)、液晶モニターでは縦長に表示されます。
OFF ／ [AUTO]（シーンメニューを自動で表示したいとき） ●「OFF」のときに、シーンメニューを手動で表示する：[MENU/SET] を押す。
OFF ／ [ON]（表示する）
[日本語] ／ ENGLISH

基本 1 撮る

1 電源を入れる

OFF ON

●動作表示ランプが約 1 秒間点灯。

2 「📷」に合わせる（通常撮影モード）

通常撮影

液晶モニターの表示

3 ピントを合わせる

半押し

4 撮影する

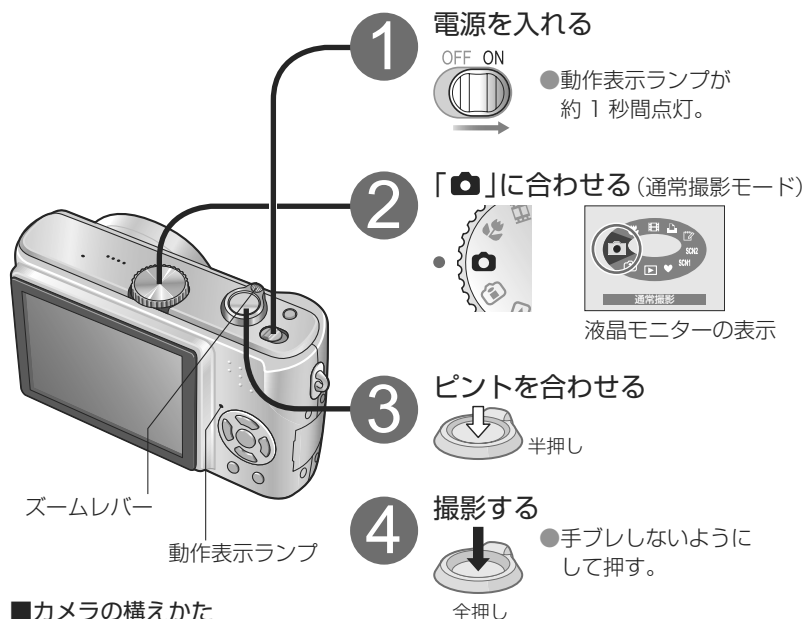
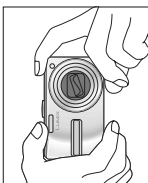
●手ブレしないようにして押す。

全押し

ズームレバー

動作表示ランプ

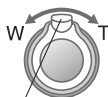
■カメラの構えかた

横

縦

●フラッシュ発光部や AF 補助光ランプをふさがない、近くで見ない。
●レンズを触らない。
●脇を締め、足を開く。

■(手ブレ警告表示）が表示されたとき

手ブレ補正(P. 39)、三脚、セルフタイマー(P. 35)などを使用してください。

■撮影可能範囲（近づいて撮るときは→ P. 46）

W 側に回し、W 端（1 倍）になったときは、被写体との距離：50cm 以上

T 側に回し、T 端（最大倍率）になったときは、被写体との距離：2m 以上

W T ズームレバー

■フラッシュを使う（P. 36）

■液晶モニターの表示一覧は（P. 82）

撮影の前に、時計を設定してください。（P. 16）

ピントの合わせかた

被写体を AF エリアに合わせて、［シャッター］を半押しする。

（赤で表示：適正露出になっていません→フラッシュを使う (P.36) または「ISO 感度」(P.51) を変える）

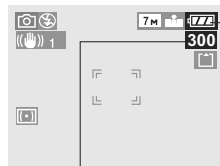
ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯※	点滅
AF エリア	緑	赤・白
音	ピピッ	ピピピピッ

※撮影可能範囲外では、点灯しても合っていないことがあります。

ピントが合わないとき（被写体が、撮りたい構図の中央にないときなど）

①被写体にピントを合わせ、　②撮りたい構図に戻し、撮る。

- ピントが合わないときは、もう一度合わせ直してください。
  ピントが合いにくい被写体や撮影環境：
  - 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの。
  - ガラス越しや光るものの近くを撮影するとき。暗いときや手ブレしているとき。
  - 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき。

バッテリー残量と撮れる枚数

撮れる枚数
（枚数の目安は：P. 26、94）

バッテリー残量

（赤点滅）

（液晶モニター消灯時は動作表示ランプが点滅）
バッテリーを充電または交換してください。
（P. 14）

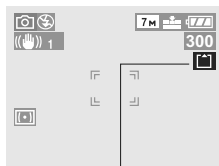
- AC アダプター（別売：DMW-AC5）使用時は表示されません。

撮る

基本 1

撮る(続き)

画像の保存先

カードを入れているときはカード［[カード]］、入れていないときは内蔵メモリー［[IN]］に保存されます。

画像の保存先

[カード] カード　[IN] 内蔵メモリー

動作中は…

[カードアクセス] または [IN] が、赤く点灯します。

点灯中は、画像の記録や読み出し、削除などの動作中のため、電源を切ったり、バッテリーやカード、AC アダプター(別売：DMW-AC5)を取り外さないでください。

(データ破損や故障の原因になります)

●カードと内蔵メモリー間で画像をコピーできます。(P. 73)

●大切な画像はパソコンなどへの保存をおすすめします。

(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)

■カードについて

●必ず本機でフォーマット(P. 73)してからご使用ください。

●スイッチを「LOCK」にすると、撮影や削除、フォーマットなどができません。

●使用可能な種類について→(P. 15)

記録可能枚数・時間について→(P. 94)

書き込み禁止スイッチ

■内蔵メモリー(約 12.7MB)について

●カードがないときの、臨時保存先などに。

●カードよりも、アクセス時間が長いことがあります。

●メモ画像(P. 58)は、内蔵メモリーに保存されます。

■保存先ごとの記録可能枚数の目安

(お買い上げ時の設定の場合。カードは一例です)

保存先	内蔵メモリー	カード			
	12.7MB	256MB	512MB	1GB	2GB
枚数	**2 枚**	**68 枚**	**135 枚**	**270 枚**	**550 枚**

撮れる枚数はカードの容量のほか、アスペクト設定(P. 51)、記録画素数(P. 52)、クオリティ(P. 53)の設定によって大きく変わります。(より詳しい情報は：P. 94)

基本 2

ズームで撮る

「光学ズーム」は 10 倍まで、「EX 光学ズーム」は 15 倍まで拡大できます。
「デジタルズーム」を使うと、さらにその 4 倍まで拡大できます。
焦点距離は、28 mm ～ 280 mm です。(35 mm フィルムカメラ換算)

ズームで撮る（望遠）

戻す（広角）

■ズームの種類

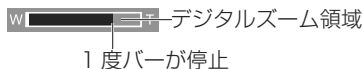
種類	光学ズーム	EX 光学ズーム (EZ)	デジタルズーム
最大倍率	10 倍	15 倍※ （13 倍、12.6 倍、12 倍）※	40 倍（光学ズーム 10 倍含む） 60 倍（EX 光学ズーム 15 倍含む）
画質	劣化しない	劣化しない	拡大するほど劣化する
条件	なし	EZ 付きの記録画素数(P. 52)を選ぶ	撮影メニューの「デジタルズーム」(P.56）を「ON」に設定する
画面表示	W T	EZ W T EZ を表示	デジタルズーム領域を表示 W T EZ W T デジタルズーム領域で[シャッター]を半押しすると、AF エリアが大きくなる

※記録画素数や、アスペクト設定により変わります。

■ EX 光学ズーム（EZ）とは

例えば「3M EZ」(300 万画素相当)に設定すると、CCD の持つ 7M(720 万画素相当)の領域のうち、3M分の中央部を切り取って撮影するので、より高い倍率で撮影できます。

■デジタルズーム領域に入るには

デジタルズーム領域の手前で一度バーが停止した後、ズームレバーを回し続ける、または一度離してから再び回す。

■電源を切ったときの倍率を記憶させる ➡「ズーム位置メモリー」(P. 20)

●倍率、画面のバー表示は目安です。
●ピントは、ズームした後に合わせてください。
●ズーム中、レンズ鏡筒（P. 12）の動きを妨げないでください。
●動画撮影中は、ズームできません。
●近くの被写体を広角で撮るほど画像がゆがんだり、望遠にするほど被写体の輪郭などに着色して撮影されることがあります。
●ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。
●EX 光学ズーム時、W 端(1 倍)付近でズームの動きが一瞬止まりますが、故障ではありません。
●デジタルズーム使用時は手ブレ補正が効きにくいことがあるため、三脚とセルフタイマー (P. 35) をおすすめします。

基本 3 かんたんモードで撮る

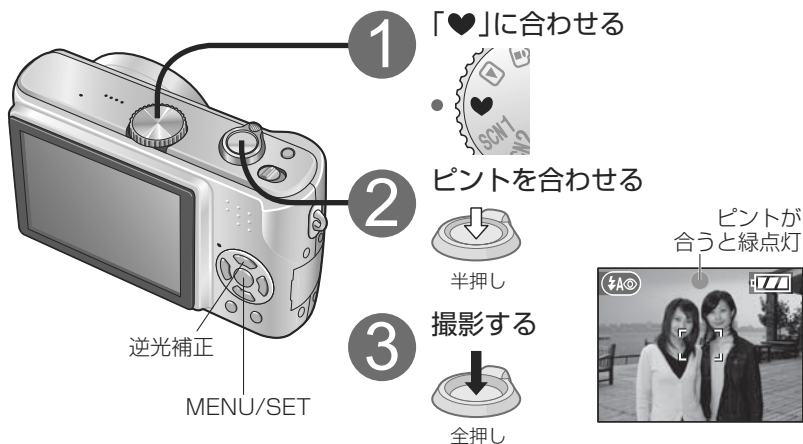
1 「❤」に合わせる

2 ピントを合わせる

半押し

ピントが
合うと緑点灯

3 撮影する

全押し

●次の設定は固定されます。

機能	設定
セルフタイマー（P. 35）	OFF/10 秒
パワーセーブ（P. 20）	5 分
手ブレ補正（P. 39）	MODE1
ホワイトバランス（P. 50）	AWB
ISO 感度（P. 51）	🅘※
測光モード（P. 53）	(•)
AF モード（P. 54）	■（1 点）
AF 補助光（P. 56）	ON
カラーモード（P. 56）	標準

●次の機能は使えません。

機能
連写（P. 55）
デジタルズーム（P. 27）
露出補正 / オートブラケット(P. 38)
ホワイトバランス微調整（P. 50）
音声記録（P. 53）
AF 連続動作（P. 55）
エコモード（P. 20）
ハイアングル（P. 34）
ガイドライン表示（P. 33）

※インテリジェント ISO 感度モード（P. 46）の最高 ISO 感度「800」設定時と同じ。

逆光補正（かんたんモードのみ）

押す

補正中は🄱を表示

逆光のとき、人物が暗くなるのを防ぎます。

●逆光補正を止めるとき：再度▲を押す。

●より明るくしたいときなど、フラッシュ（⚡強制発光）の使用をおすすめします。(P. 36)

●かんたんモード以外のときは、「露出補正」（P. 38）で調整してください。

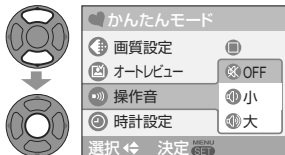
かんたんに撮ってみたい方のための、初心者向けのモードです。
主な機能やメニュー項目のみ表示されます。

「かんたんモード」メニュー

操作音や画質を変えたいときなどに使います。

1 かんたんモードメニューを表示

2 項目を選び、決定する
（画面は、操作音を変える場合）

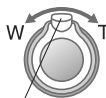
3 設定を選び、決定する

4 終了する

●□で囲んでいるものは、お買い上げ時の設定です。

項目	設定
画質設定	**引き伸ばし**：A3 や A4 などにプリントするとき。（4：3、7M、ファイン） **Lサイズ**(3：2)※1：L サイズ(89×127mm)にプリントするとき。（2.5M EZ、スタンダード） **Eメール**※1：メール添付やホームページで使用するとき。（4：3、0.3M EZ、スタンダード）
オートレビュー	OFF / ON ：撮影後に画像を約 1 秒間表示
操作音※2	**OFF** / **小** / **大**
時計設定※2	日付や時刻を変更する（P. 16）

※1 EX 光学ズーム(P. 27)可能。※2 他の撮影モードにも反映。

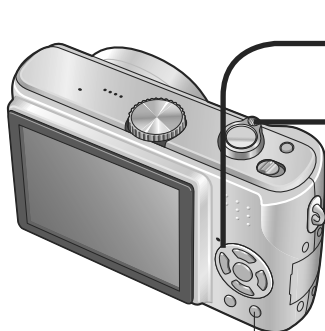
●撮影可能範囲

W 側に回し、W 端（1 倍）になったときは、被写体との距離：5cm 以上

T 側に回し、T 端（最大倍率）になったとき（ TELE を表示）は、被写体との距離：1m 以上（ただし、T 端以外 2m 以上）

●フラッシュ(P. 36)は「 赤目軽減オート」か、「 発光禁止」の選択になります。（逆光補正中は「 強制発光」か「 発光禁止」）

●記録可能枚数について（P. 94）

基本4 撮った画像を すぐ見る（レビュー）

撮影モード (📷 iA ✿ SCN1 SCN2 ♥) のままで、すぐ見たい（確認)、すぐ消したいときなど、簡単操作で行えます。

1 撮った画像を表示する

●最後に撮った画像を、約 10 秒間表示します。
●表示をやめるとき：▼または［シャッター］半押し
●前後の画像を見るとき：◀ ▶

2 拡大して見る（4 倍 /8 倍）

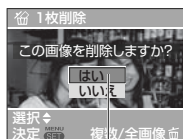
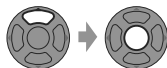
現在ズーム位置（1 秒間表示）

● T 側に回すごとに拡大します。
●倍率を戻すとき：W 側に回す
●ズーム位置を移動するとき：▲▼◀ ▶

■縦撮りした画像を縦向きに表示するとき
➡(P. 66)

すぐ消す

1 画像を表示中に

2 「はい」を選び、決定する

「はい」をオレンジ色にする

■複数またはすべて消すとき
➡(P. 32)

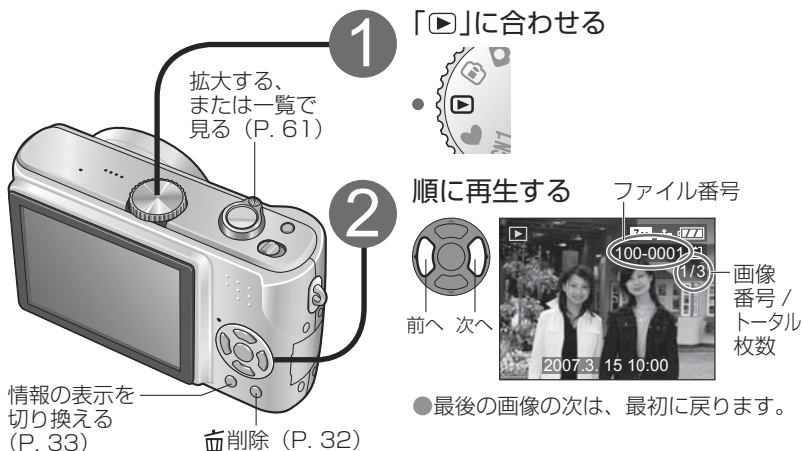
●一度消した画像は、元に戻せません。
●動画はレビューできません。再生モード（P. 62）で確認してください。

基本 5 画像を **見る**（再生）

カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像を再生します。
（メモ画像は、メモモードでのみ再生できます→ P. 59）

1 「▶」に合わせる

2 順に再生する

●最後の画像の次は、最初に戻ります。

■早送り（早戻し）する

●押し続けると、一度に送る枚数が増加します。
●レビュー時(P. 30)や「マルチ再生」(P. 61)時は働きません。

■拡大する（再生ズーム）

現在ズーム位置（1 秒間表示）

●ズーム倍率：1 倍 /2 倍 /4 倍 /8 倍 /16 倍
●倍率を戻す：W 側に回す
●ズーム位置を移動：▲▼◀▶
●拡大すると表示画質は劣化します。

■一覧で再生するとき ➡(P. 61)

■縦撮りした画像を縦向きに表示するとき ➡(P. 66)

■プリントするとき
●お手持ちのプリンターを使う
　●直接つないで →（P. 76）　●パソコンにつないで →（P. 74）
●写真店に依頼する → カードをお店に渡す。

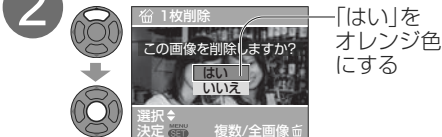
基本6 画像を**消す**(削除)

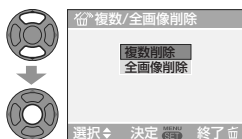
再生モード[▶]に合わせます。カードが入っているときはカードの画像を、入っていないときは内蔵メモリーの画像を削除します。(メモ画像のときは、メモモード[ ]に合わせます)

■ 1 枚のみ削除

1 画像を表示中に（P. 31）

2 「はい」を選び、決定する

「はい」をオレンジ色にする

■複数(50 枚まで)または全画像を削除

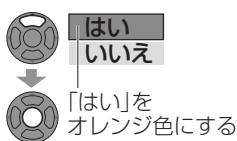
2 項目を選び、決定する

●「全画像削除」を選んだとき→❺へ

3 消す画像を選び、設定する（くり返す）

選んだ画像

●解除するとき：再度、▼を押す。

5 「はい」を選び、決定する

「はい」をオレンジ色にする

■途中で止めるとき

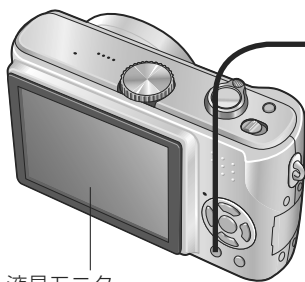
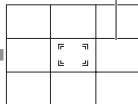
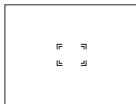
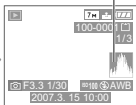
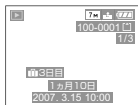
「全画像削除」、「★以外全削除」のときは、 を押す。

●**一度消した画像は、元に戻せません。**
●内蔵メモリーを全削除すると、モードによって削除される画像が異なります。
再生モード［ ▶ ］のとき：メモ画像以外の内蔵メモリー上のすべての画像
(「お気に入り」(P .65)を設定しているときは、「★(お気に入り)以外全削除」ができます)
メモモード［ ］のとき：すべてのメモ画像
●次の場合は削除されません。
•プロテクトした画像（P. 69）（削除するにはプロテクトを解除する）
•カードのスイッチを「LOCK」にしている。•DCF 規格（P. 92）以外の画像。
●削除枚数により、時間がかかることがあります。

お願い

●削除中は、電源を切らないでください。また、十分に充電したバッテリーか AC アダプター（別売：DMW-AC5）をご使用ください。

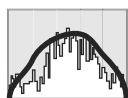
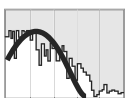
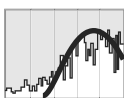
撮影情報などの 表示を切り換える

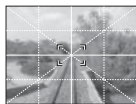
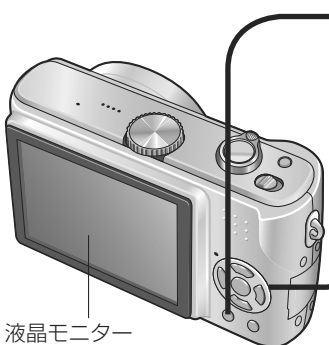
ヒストグラムなど、液晶モニターの表示を切り換えられます。

●再生時の表示

- 再生ズーム(P. 31)や動画再生(P. 62)、スライドショー(P. 64)のときは、表示/非表示の切り換えのみ。
- マルチ再生やカレンダー再生(P. 61)、2 画面表示(P. 64)のときは、切り換えできません。

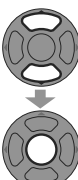
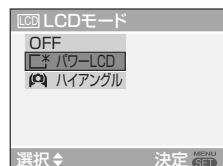
■ヒストグラム

被写体の明るさをグラフで表したもので、露出補正 (P. 38) などの参考にします。(表示は目安です)

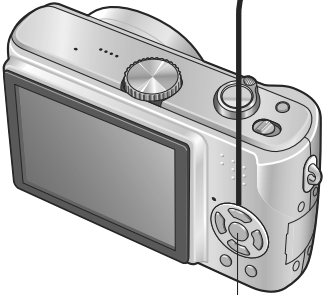
(例)

●ヒストグラムは、撮影時(フラッシュ発光時や暗い場所)と再生時とで一致しない場合、撮影時にオレンジ色で表示されます。
●画像編集ソフトなどのヒストグラム、また、撮影時と再生時で、一致しないことがあります。

■ガイドライン

撮影時、バランスなど構図の参考にします。
●「ガイドライン表示」の設定：P. 20

●メニュー(P. 17)表示中は、表示を切り換えられません。
●かんたんモード(P. 28)は、表示 / 非表示のみの切り換えになります。
●ヒストグラムは、かんたんモード(P. 28)や動画撮影モード(P. 47)、メモモード(P. 58)では表示されません。

応用(撮る) 2 液晶モニターを 見やすくする

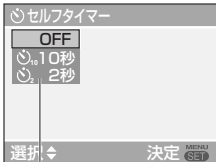
高い位置から撮るときや、明るい屋外などで液晶モニターが見にくいときに、見やすくします。

1 「LCD モード」を表示する

DISPLAY LCD MODE 長押し

2 モードを選び、決定する

- パワー LCD
  画面を通常よりも明るくする。（屋外向き）
- ハイアングル
  高い位置から撮るときに見やすくする。（正面からは見にくくなります）
- OFF：通常表示

ハイアングル

- 「ハイアングル」は、電源を切ると（パワーセーブ含む）解除されます。
- 太陽光などが反射して画面が見にくい場合は、手などでさえぎってください。
- 「ハイアングル」は、次の場合働きません。
  - かんたんモード ●再生モード ●プリントモード
  - メニュー画面表示中 ●画像確認中（レビュー）
- 「パワー LCD 」は、撮影時操作を 30 秒間しないと通常の状態に戻ります。（いずれかのボタンを押すと再び明るくなります）
- 「LCD モード」動作中の液晶の明るさや色は、撮影画像に影響しません。

応用(撮る)3 セルフタイマーで撮る

三脚の使用をおすすめします。セルフタイマーを 2 秒に設定し、シャッターの手ブレを補正するのにも効果的です。

1 「セルフタイマー」を表示する

2 時間を選び、決定する

約 5 秒間表示

●◀でも選べます。

3 ピントを合わせる

●一度に全押しすると、撮影直前に自動的にピントを合わせます。

4 撮影する

●セルフタイマーランプが点滅し、選んだ時間が経過したら撮影します。

●動作中に解除するとき：［MENU/SET］を押す。

●シーンモードの「水中」および、動画撮影モード[🎞]では使用できません。

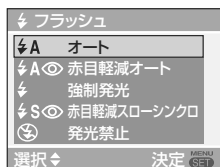
● 2 秒または 10 秒しか選べないモードがあります。

•かんたんモード：10 秒　•メモモード、シーンモードの「自分撮り」：2 秒

フラッシュで撮る

フラッシュ発光部
●手でふさがない。近く(数cm)で見ない。
●物を近づけない。
(熱や光で変形することがあります)

1 「フラッシュ」を表示する

2 種類を選び、決定する

(約 5 秒間表示)

●▶でも選べます。

■種類

種類と動作	こんなときに
⚡A オート ●自動 ON / OFF	通常使用
⚡A◎ 赤目軽減オート ●自動 ON(赤目をおさえる) / OFF	暗い場所で人物を撮る
⚡ 強制発光 ●常に ON	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡◎ 赤目軽減強制発光 (シーンモードの「パーティー」「キャンドル」のみ(P. 42)) ●常に ON(赤目をおさえる)	逆光または蛍光灯など照明の下で撮る
⚡S◎ 赤目軽減スローシンクロ ●自動 ON(赤目をおさえ、シャッタースピードを遅くして明るく撮る) / OFF	夜景を背景に人物を撮る (三脚をおすすめします)
⊘ 発光禁止 ●常に OFF	フラッシュ禁止の場所

●赤目軽減(⚡A◎ ⚡◎ ⚡S◎)は 2 回光り、2 回目に撮影します。2 回目まで動かないでください。また、効果には個人差があります。
●シャッタースピードは次のようになります。
⚡A 、⚡A◎、⚡ 、⚡◎ :1/30 ~ 1/2000 秒
⚡S◎、⊘ :1/8(スローシャッター設定(P. 56)により変わる)~ 1/2000 秒

モード（P. 13、40）によって、使える種類が異なります。

■モード（P. 13、40）別の使える種類（◎：お買い上げ時の設定）

						シーンモード												
⚡A	○	×	○	○	○	○	○	◎	◎	×	○	×	×	×	○	×	◎	○
⚡A◎	○	○※	○	○	×	◎	◎	○	×	×	×	×	×	◎	×	×	×	×
⚡	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	◎	○	○
⚡◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
⚡S◎	○	×	○	○	×	×	×	×	×	◎	×	◎	○	×	×	×	×	×
⊘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎

●動画撮影モード［ ］、シーンモードの 、 、 、 、 、 、 では、フラッシュは使えません。
●撮影モードを変更するとフラッシュ設定が変わることがあります。
●シーンモードを変更すると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。
※逆光補正中（P. 28）は、 と の切り換えになります。

■ ISO 感度（P. 51）とズーム（P. 27）によるフラッシュ撮影可能範囲

AUTO	W 端：約 0.6 ～ 4.2m	T 端：約 1.0 ～ 2.8m
ISO100	W 端：約 0.6 ～ 1.6m	T 端：約 1.0 ～ 1.1m
ISO200	W 端：約 0.6 ～ 2.3m	T 端：約 1.0 ～ 1.5m
ISO400	W 端：約 0.6 ～ 3.3m	T 端：約 1.0 ～ 2.2m
ISO800	W 端：約 0.8 ～ 4.7m	T 端：約 1.0 ～ 3.1m
ISO1250	W 端：約 1.0 ～ 4.7m	T 端：約 1.0 ～ 3.1m

●ズームを使わず、至近距離（W 端付近）で撮影時、フラッシュを使うと、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。

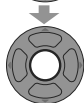
■インテリジェント ISO 感度モード時（P. 46）の「最高 ISO 感度」（P. 51）と撮影可能範囲

ISO400	W 端：約 0.6 ～ 3.3 m	T 端：約 1.0 ～約 2.2 m
ISO800/ISO1250	W 端：約 0.6 ～ 4.2 m	T 端：約 1.0 ～約 2.8 m

●フラッシュが光る場合は、[シャッター]半押し時、⚡A などのマークが赤になります。
●⚡A などのマークが点滅中（フラッシュ充電中）は、撮影できません。
●光が十分に届かないときは、適切な露出やホワイトバランスにならない場合があります。
●シャッタースピードが速い場合、効果が十分得られないことがあります。
●バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。
●「エコモード」（P. 20）設定中は、フラッシュ充電中、液晶モニターが消灯します。

露出を補正して撮る

適正な露出が得られないときに補正します。(逆光時など、被写体と背景の明るさに差があるときなど)明るさによっては、補正できない場合があります。

「露出補正」を表示する

値を選び、決定する

●画面左下に補正値(+1/3 など)が表示されます。

●露出補正の例

露出オーバー

「−」マイナス方向へ

適正露出

「+」プラス方向へ

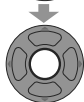
露出アンダー

■オートブラケット

露出を自動で変えながら 3 枚連写します。「露出補正」設定後は、補正値を基準にします。

「オートブラケット」を表示する

数回押す

補正幅を選び、決定する

●オートブラケット±1EV の例

1 枚目
0 EV
(基準)

2 枚目
−1 EV
(暗く)

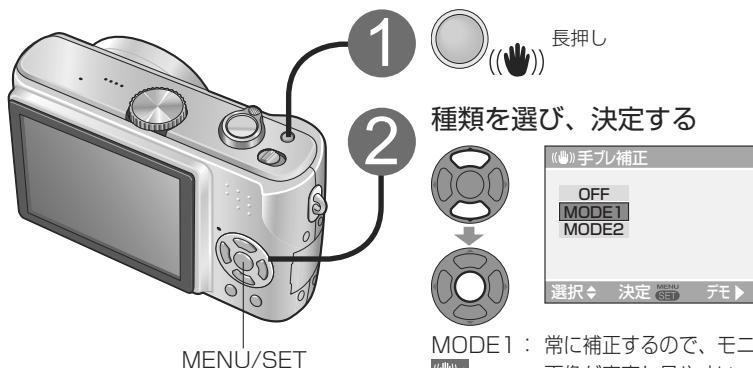
3 枚目
+1 EV
(明るく)

●フラッシュ発光時や記録可能枚数が 2 枚のときは働きません。
●オートブラケットを設定すると、画面左に [ ] が表示されます。
●電源を切ると、解除されます。

応用(撮る) 6 手ブレを補正して撮る

手ブレを自動で感知して補正します。
次の場合は、手ブレ補正の種類を変えられません。
●かんたんモード（P. 28） ●「自分撮り」（P. 42） ●「星空」（P. 44）

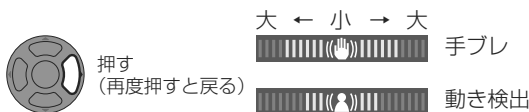
1
2 種類を選び、決定する

MODE1 ： 常に補正するので、モニター画像が安定し見やすい。
MODE2 ： [シャッター]を押す瞬間のみ補正する。より手ブレが少なく撮れる。
OFF ： 意図的にブレたまま撮る。

●補正が効きにくい場合：
- ●手ブレが大きい
- ●ズーム倍率が高い（デジタルズーム時：P. 27）
- ●動きの速い被写体
- ●室内や薄暗い場所（シャッタースピードが遅いとき）

■手ブレ・動き検出デモ画面を見る

手ブレと、被写体の動きの状態をグラフで示します。（目安）

押す
（再度押すと戻る）

大 ← 小 → 大

●デモ画面表示中は、撮影やズームはできません。
●動き検出に基づいた ISO 感度の自動設定が働くのは、次のときのみです。
- ●インテリジェント ISO 感度モード［ ］（P. 46）
- ●「スポーツ」［ ］（P. 42） ●「赤ちゃん」［ ］（P. 44）
- ●「ペット」［ ］（P. 44）

●動き検出デモは、濃淡のある被写体でご覧ください。

応用(撮る) 7

場面に合わせて撮る
(シーン)

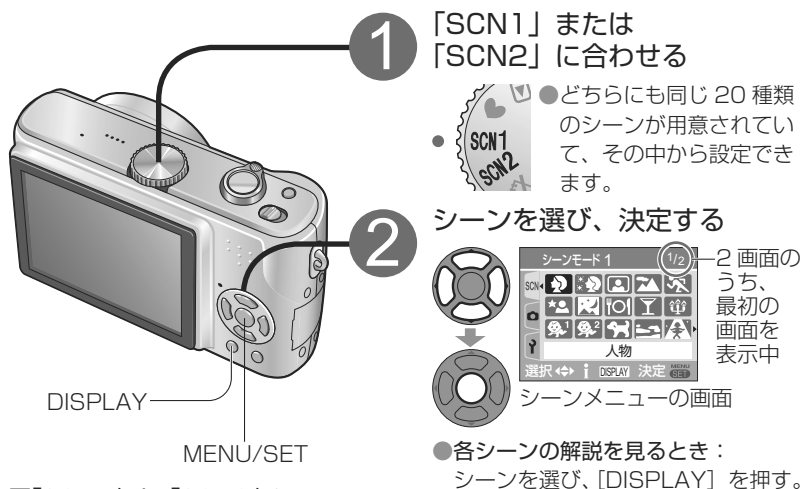
1 「SCN1」または「SCN2」に合わせる

●どちらにも同じ 20 種類のシーンが用意されていて、その中から設定できます。

2 シーンを選び、決定する

2 画面のうち、最初の画面を表示中

シーンメニューの画面

●各シーンの解説を見るとき：
シーンを選び、[DISPLAY] を押す。

■「SCN1」と「SCN2」について

一度設定すると、そのシーンを記憶します。
よく使うシーンを、例えば SCN1 で「夜景」、SCN2 で「夜景&人物」を選んでおくと、それぞれにすぐ切り換えられて便利です。

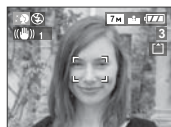
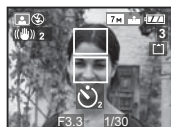
●すぐ撮影できるようにしたいときは、
(シーンモードに切り換えたとき、シーンメニューを自動表示させない)
①セットアップメニューを表示する (P. 18)
②「シーンメニュー」(P. 22) を選び、「OFF」に設定する
(シーンメニューを表示するとき：[MENU/SET] を押す)

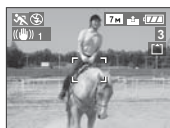
●場面に合わないシーンを選ぶと、画像の色合いが変わることがあります。
●明るさは「露出補正」(P. 38) で調整できます。(「星空」を除く)
●撮影メニュー (P. 50) で詳細な設定ができます。
(「ISO 感度」、「測光モード」、「カラーモード」を除く)
また、シーンによっては、設定を変えられない項目があります。
●「ホワイトバランス」(P. 50) が設定できるのは、次のシーンです。
「人物」、「美肌」、「自分撮り」、「スポーツ」、「赤ちゃん」、「ペット」、「高感度」。
(シーンを変更すると設定は「AWB」に戻ります)
●使えるフラッシュの種類 (P. 36) は、シーンによって異なります。
シーンモードを変更すると、フラッシュ設定はお買い上げ時の設定に戻ります。(P. 37)
●シーンモードの「夜景&人物」、「夜景」、「星空」、「花火」では、ガイドライン (P. 33) は、グレーで表示されます。

シーンモードを使うと、場面に合った最適な設定（露出や色調など）で撮影ができます。

シーン（場面）の種類

 人物

美肌

自分撮り

風景

スポーツ

夜景&人物

夜景

料理

パーティー

キャンドル

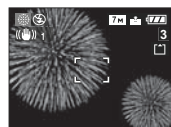
赤ちゃん

ペット

夕焼け

高感度

星空

花火

ビーチ

雪

空撮

水中

●各シーンの機能・コツなど…（P. 42 ～ 45）

場面に合わせて撮る（続き）
（シーン）

シーン	こんなときに
人物	昼間の屋外で、人物を引き立て、肌色を健康的に。
美肌	明るい昼間の屋外で、肌色をなめらかに。 （胸から上の撮影に効果的です） ●明るさにより、効果がわかりにくい場合があります。
自分撮り	自分で自分を撮る。 ●[シャッター]半押し→セルフタイマーランプ点灯→全押し→レビュー（セルフタイマーランプ点滅：ピントが合っていない） ●音声付きで撮るとき（P. 53） （録音中、セルフタイマーランプが点灯します）
風景	広がりのある遠くの被写体をくっきりと。
スポーツ	スポーツなど、動きの速いシーンに。
夜景&人物	人物と夜景を、見た目に近い明るさで。 ●暗いシーンではノイズが目立つことがあります。 ●撮影後、シャッターが 1 秒間閉じたままになることがあります。
夜景	夜景を鮮やかに。 ●暗いシーンではノイズが目立つことがあります。 ●撮影後、シャッターが最大 8 秒間閉じたままになることがあります。
料理	周囲の光に影響されず、料理を自然な色で。
パーティー	室内の結婚式など、人物と背景を明るく。
キャンドル	ろうそくの明かりの雰囲気を引き立てる。

シーンモードでのフラッシュについて（P. 37）

コツ・お知らせ	固定される主な設定
●被写体にできるだけ近づく。 ●ズーム：できるだけ望遠（T 側）で。	ISO 感度：ISO100
●被写体にできるだけ近づく。 ●ズーム：できるだけ望遠（T 側）で。	ISO 感度：ISO100
●ピント：30 ～ 70cm（W 端） ●ズームしない。（ピントが合いにくい） （ズームは自動的に W 端に移動） ● 2 秒セルフタイマー（P. 35）推奨。	手ブレ補正：MODE2 AF モード：（9 点）/ AF 補助光：OFF セルフタイマー：OFF/2 秒 ズーム位置メモリー：OFF
● 5m 以上離れる。	フラッシュ：発光禁止 AF 補助光：OFF
● 5m 以上離れる。	ISO 感度　最高感度：ISO800 （インテリジェント ISO 感度モード 「 」（P. 46）と同等） スローシャッター：設定不可 デジタルズーム：設定不可
●被写体は 1 秒間動かない。 ●フラッシュを使う。 ●三脚、セルフタイマー推奨。 ●ピント：1.2 ～ 5m （W 端（広角）で 1.5m 推奨）	AF 連続動作：OFF
● 5m 以上離れる。 ● 8 秒間動かさない。 （シャッタースピード：最大 8 秒） ●三脚、セルフタイマー推奨。	フラッシュ：発光禁止 AF 連続動作：OFF / AF 補助光：OFF ISO 感度：ISO100 スローシャッター：設定不可
●ピント　W 端：5cm 以上 T 端：1m 以上	–
●約 1.5 m 離れる。 ●ズーム：広角 (W 側) ●フラッシュを使う。 ●三脚、セルフタイマー推奨。	–
●ピント　W 端：5cm 以上 T 端：1m 以上 ●フラッシュ発光禁止推奨。 ●三脚、セルフタイマー推奨。	–

場面に合わせて撮る（続き）

（シーン）

シーン	こんなときに
赤ちゃん	フラッシュは弱めで（フラッシュ使用時）肌色を健康的に。 ●月齢·年齢を画像に記録するには(「赤ちゃん 1」「赤ちゃん 2」に別々に設定できるので、いずれかを選んでおく) ①▲▼で「誕生日設定」を選び、[MENU/SET] を押す。 ②▲▼◀▶で誕生日を入力し、[MENU/SET] を押す。 ③ [MENU/SET] を押し、シーンメニューを表示する。 ④誕生日を入力したのと同じモード(「赤ちゃん 1(または 2)」)を選ぶ。 ⑤▲▼で「月齢 / 年齢あり」を選び、[MENU/SET] を押す。 ●手順①、②は、初回または誕生日を変更するときのみ。 ●リセット：セットアップメニューの「設定リセット」(P. 22)
ペット	月齢 / 年齢を記録して撮る。 設定方法は、「赤ちゃん」（上記）と同じ。
夕焼け	夕焼けなどの風景の赤色を鮮やかに。
高感度	薄暗い室内で被写体のブレをおさえる。 ●高感度処理のため、画像が少し粗くなります。
星空	星空や暗い被写体を鮮明に。 ●シャッタースピードの選択 ①▲▼で選び、[MENU/SET]を押す。②[シャッター] を押す。 星空 15秒 30秒 60秒 戻る 選択 決定 暗いときは、シャッタースピードを長く設定する 15 中止 カウントダウンが始まる
花火	夜空にあがる花火をきれいに。 ●露出補正しない場合、シャッタースピードは、1/4 秒、または 2 秒(手ブレが少ないとき、または手ブレ補正が「OFF」のとき）です。
ビーチ	海や空の青色を鮮明に、人物を暗くしない。
雪	スキー場や雪山で、雪景色を自然な色で。
空撮	飛行機からの窓越しの景色に。
水中	水中で自然な色を。 ●マリンケース（別売：DMW-MCTZ3）を必ず使用してください。 AF ロック（ピント固定） AF-L AFロック

シーンモードでのフラッシュについて（P. 37）

コツ・お知らせ	固定される主な設定
●ピント W 端：5cm 以上　T 端：1m 以上 ●このモードにしたとき、月齢／年齢を約 5 秒間画面表示。 ●月齢 / 年齢の表示形式は言語設定により異なる。 ●撮影後、月齢 / 年齢の追加は不可。 ●付属のソフトウェア（P. 11）で、パソコンから月齢 / 年齢を印刷可能。 ●「日付焼き込み」（P. 66）で画像に焼き込むことができます。 ●生まれた日は「0 ヵ月 0 日」になります。	デジタルズーム：設定不可 ISO 感度　最高感度：ISO400 （インテリジェント ISO 感度モード「 」（P. 46）と同等）
● AF 補助光の初期設定は「OFF」。その他は、「赤ちゃん」（上記）と同じ。	「赤ちゃん」（上記）と同じ。
–	フラッシュ： 発光禁止 AF 補助光：OFF / ISO 感度：ISO100
●ピント W 端：5cm 以上　T 端：1m 以上	フラッシュ： 発光禁止 ISO 感度：ISO3200 EX 光学ズーム、デジタルズーム：設定不可
●必ず三脚を使う。●セルフタイマー推奨。 ●カウントダウンが終わるまで、カメラを動かさない。 ●秒数を変えるとき、[MENU/SET] を押し、▶を押して、星空を選ぶ。 ●「露出補正」、「オートブラケット」は不可。	フラッシュ： 発光禁止 音声記録：OFF AF 連続動作：OFF 手ブレ補正：OFF ISO 感度：ISO100 スローシャッター：設定不可 連写：設定不可
● 10m 以上離れる。 ●三脚推奨。	フラッシュ： 発光禁止 / ISO 感度：ISO100 AF 連続動作：OFF / AF 補助光：OFF
●砂や海水に気をつける。	–
●気温が低いとき、電池の使用時間が短くなる。	–
●濃淡のある部分にピントを合わせる。 ●室内の景色が窓に映らないか確認する。	フラッシュ： 発光禁止 AF 補助光：OFF
●動きの速い被写体には、AF エリアを合わせて◀を押す。（AF ロック）再度◀を押すと解除される。 ●「WB 微調整」（P. 51）で赤み･青みを調整する。 ●ピント W 端：5cm 以上　T 端：1m 以上	セルフタイマー：設定不可

被写体ブレを防いで撮る(インテリジェントISO感度モード)／近づいて撮る(マクロモード)

薄暗いときや動きが速いときなど、被写体をブレずに撮るとき

被写体の動きを検出し、明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードを設定します。

「」に合わせる

2 撮影する(P. 24)

■屋内で動きのある被写体は

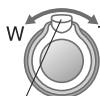
感度を上げ、シャッタースピードを速くして被写体のブレをおさえる。

■屋内で動きのない被写体は

感度を下げてノイズをおさえる。

● ISO感度の上限を設定できます(P. 51「最高ISO感度」)。上限「800」または「1250」設定時に、フラッシュが発光する場合は、上限が「640」になります。
●被写体が小さすぎたり、画面の端にあるときや、[シャッター](全押し)と同時に動きだしたときは、動きを検出できないことがあります。
●明るさや被写体の動きの速さによっては、ブレる場合があります。
●「デジタルズーム」(P. 27)や「スローシャッター」(P. 56)は、使えません。

■インテリジェントISO感度モードやマクロモードでの撮影可能範囲

W側に回し、W端(1倍)になったときは、被写体との距離:5cm以上

T側に回し、T端(最大倍率)になったとき(TELE を表示)は、被写体との距離:1m以上(ただし、T端以外 2m以上)

花などをアップで近づいて撮るとき

「」に合わせる

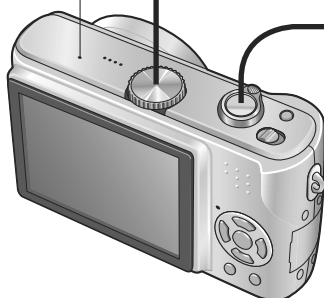
2 撮影する(P. 24)

●三脚やセルフタイマー(P. 35)、フラッシュ発光禁止 をおすすめします。(P. 36)
●被写体が近い場合、ピントの合っている範囲が非常に狭いため、ピントを合わせた後にカメラを動かすと、ピントが特に合いにくくなります。
●画像周辺の解像度が少し下がることがあります。

■足元の花や近づけない生物などを撮るとき(テレマクロ機能)

T側いっぱいにズームすると、最短1mの距離から撮影できます。
(T端以外では2mになります)ピントはズームした後に[シャッター]を半押しで合わせてください。手ブレしやすいので三脚の使用をおすすめします。

動画を撮る

音声付き動画を記録します。(音声なしでは記録できません)

●空き容量がなくなると自動終了。

■記録時間の目安 ➡(P. 94)

●動画記録中は、ズームと AF 連続動作(P. 55)は働きません。
●マルチメディアカードには、対応していません。
●手ブレ補正「MODE2」は使えません。
●撮影可能範囲は、W 端時 5cm 以上／T 端時 1m 以上です。(ただし、T 端以外 2m 以上)
●ピントやズーム、絞り値は、撮影開始時の設定に固定されます。
●動画を連続して記録できるのは、約 2GB までです。
停止後続けて記録したいときは、再度[シャッター]を押してください。記録可能時間も約 2GB で計算(目安)されます。
●カードによっては、途中で撮影が終了することがあります。

■アスペクトと画質の設定 (撮影前に設定)

「アスペクト設定」(P. 51)の後に、「画質設定」(P. 52)を設定してください。

アスペクト	画質	画素数	コマ数
4:3	30fps VGA ※	640×480	30/秒
	10fps VGA		10/秒
	30fps QVGA	320×240	30/秒
	10fps QVGA (メール添付向き)		10/秒
16:9	30fps 16:9 ※	848×480	30/秒
	10fps 16:9		10/秒

●画質設定の目安は:P. 94
※カードは、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載があるものをおすすめします。

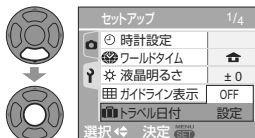
●内蔵メモリーには、QVGA のみ撮影可能です。

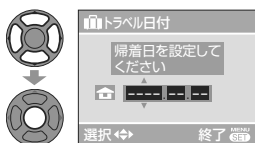
応用(撮る)10

旅行先で便利な機能
（トラベル日付／ワールドタイム）

経過日数を記録する（トラベル日付）

1 セットアップメニューから「トラベル日付」を選ぶ （P. 18、20）

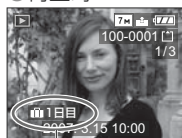
2 「設定」を選び、決定する

3 出発日を設定し、決定する

4 帰着日を設定し、決定する

帰着日を設定しないときは、何も入力せず終了する。

●撮影時

を表示

再生モードから撮影モード切換時や起動時に約 5 秒間表示

●再生時

経過日数

- 経過日数の記録を止めるときは、手順❷で「OFF」に設定してください。
- 「ワールドタイム」（右記）で旅行先を設定したときは、旅行先の日付をもとに経過日数を表示します。
- 旅行前に設定すると、出発日前はオレンジ色で「－○日目」と表示されます。（記録はされません）
- トラベル日付が白色で「－ 1 日目」と表示される場合は、「ホーム」と「旅行先」との間に、日付をまたぐ時差があります。（記録されます）
- 経過日数をプリントするには：
  - 「日付焼き込み」（P. 66）を行ってからプリントする。
  - 付属のソフトウェア（P. 11）を使ってプリントする。

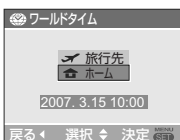
旅行の経過日数や、海外旅行先の日時を記録します。
再生時に表示したり、画像に焼き込むことができます。(P. 66)
●時計の設定(P. 16)が必要です。

海外旅行先の日時を記録する(ワールドタイム)

1 セットアップメニューから「ワールドタイム」を選ぶ(P. 18、20)

●お買い上げ時は、「ホームエリアを設定してください」と表示されます。その場合は、[MENU/SET]を押して手順❸へ。

MENU/SET

2 「ホーム」を選び、決定する

3 ホーム(お住まいの地域)を設定し、決定する

● 2 回目以降は、▶を押す。

■中止するとき
➡ 削除ボタン(P. 12)を押す。

4 「旅行先」を選び、決定する

5 都市・地域(エリア)を設定し、決定する

●旅行先の地域が表示されない場合“ホームとの時差”を参考に選んでください。

■中止するとき
➡ 削除ボタン(P. 12)を押す。

6 終了する

■サマータイム の設定/解除

設定は、手順❸、❺で行ってください。
(もう一度押すと解除)

■旅行から戻ったら ➡上記❶、❷、❻を行い、[MENU/SET] を押して終了。
●ホームのサマータイムを設定しても、時計設定(P. 16)は変わりません。
●旅行先を設定して撮影した画像は、再生時に「✈」が表示されます。

撮影メニューを使う

●撮影メニューの設定は（P. 18）
●□で囲んでいるものは、お買い上げ時の設定です。
●よく使うメニューを簡単に呼び出すには、「クイック設定」(P. 57)が便利です。

WB ホワイトバランス

同じ色でも光源（太陽や照明など）により、青っぽく、あるいは赤っぽく写ることがあります。ホワイトバランスを調整することにより、全体を見た目に近い色に調整します。

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：

通常は「AWB」に設定してください。（適切に自動調整します）
色合いが不自然に感じたときは、天候や屋内外の状況に応じて「☼」や「☁」などに設定します。また、より厳密な手動設定や微調整をすることもできます。(下記)

AWB（自動調整）／☼（晴天の屋外）／☁（曇りの屋外）／（屋外晴天下の日陰）
（白熱灯）／（SETで設定した値を使用）／SET（手動で設定）

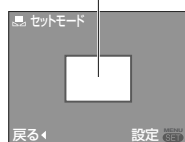
●光源による写りかた

		光源（天候や照明）	色温度（ケルビン）
青っぽい		テレビ画面	10000K 9000K 8000K
青っぽい／白っぽい／赤っぽい	AWBが働きます	日陰 曇り空 太陽光、白色蛍光灯 日の入前・日の出後、2 時間 日の入前・日の出後、1 時間 ハロゲン電球	7000K 6000K 5000K 4000K
赤っぽい		日の入前・日の出後、30 分 白熱電球 日の入・日の出 ろうそく	3000K 2000K

●「AWB」に設定しても、ろうそくなど赤っぽい光源、テレビ画面など青っぽい光源、光源が複数あるとき、または白に近い色がないときは、正常に働かない場合があります。
●蛍光灯のときは、「AWB」または「SET」に設定することをおすすめします。

■光源に合わせて、より厳密に手動設定するとき（SET）

①SET を選び、［MENU/SET］を押す。
②白い紙などに本機を向け、［MENU/SET］を押す。
③［MENU/SET］を 2 回押して終了する。
（または［シャッター］半押し）
●手順②で設定すると、ホワイトバランス微調整（P. 51）はリセットされます。

枠内に白いものだけ映す（手順②）

色合いや ISO 感度、横縦比、画素数など撮影のための詳細な設定ができます。
モードによって設定できる項目が異なります。

■「☼」などのホワイトバランスを微調整するとき(「AWB」以外)

①▲を数回押して「WB 微調整」を表示する。
②赤みが強いときは▶で、青みが強いときは◀で調整する。
③[MENU/SET]を押す。(または[シャッター]半押し)

微調整すると、赤または青に変わる

WB微調整
赤 青
選択 終了 MENU SET

- 「☼」「☁」「⌂」「☀」「⊡」で独立して調整できます。
- 電源を切っても記憶されます。
- フラッシュ撮影にも反映されます。
- シーンモードの「水中」では、「AWB」に固定されますが、微調整できます。
- 「カラーモード」(P. 56)が「クール」、「ウォーム」、「白黒」、「セピア」のとき、微調整はできません。

ISO ISO 感度

光に対する感度を設定します。暗い場所で明るく撮りたいときには、高く設定することをおすすめします。

■使えるモード：

■設定：AUTO (自動) ／ 100 ／ 200 ／ 400 ／ 800 ／ 1250
(のときは：「最高 ISO 感度」400 ／800／ 1250)

- AUTO：明るさに応じて、最大 200（フラッシュ使用時：最大 640）の範囲で自動設定します。
- のときは「最高 ISO 感度」で、ISO 感度の上限を設定できます。
- 設定の目安

ISO 感度	100 ◀━━━━▶	1250
撮影場所（おすすめ）	明るいとき（屋外）	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い

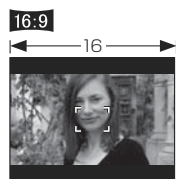
アスペクト設定

プリントや再生（見る）方法に合わせて、画像の横縦比を変えることができます。

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：4:3　3:2 (静止画のみ)　16:9

4：3 のテレビやパソコンと同じ

一般のフィルムカメラと同じ

ワイドテレビやハイビジョンテレビで再生するときなど

- プリント時に端が切れる場合があるので、事前にご確認ください。(P. 90)

撮影メニューを使う（続き）

画質設定

動画の画質を設定します。（P. 47）

■使えるモード：

■設定：（アスペクト設定（P. 51）を先に選んでおく）

アスペクト設定 4:3 ： 30fps VGA ／ 10fps VGA ／ 30fps QVGA ／ 10fps QVGA

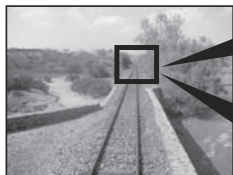
16:9 ： 30fps 16：9 ／ 10fps 16：9

●「30fps」：なめらかな動き、「10fps」：長時間撮影向き。（なめらかさに欠ける）

●「VGA」、「QVGA」、「16：9」の選択は→（P. 95）

記録画素数

記録画素数を設定します。画素数が大きい（例：2M より 7M）ほど、きめ細かな画像を撮ることができます。（この設定と「クオリティ」（右記）で撮影できる枚数が決まります。（P. 94））

●画素数の設定の目安

●きめ細かい画像を撮りたいとき
（撮影枚数は少なくなる）
→大きい画素数を選ぶ

●きめ細かさよりも枚数を多く撮りたいとき
（データ容量が小さいので、E メールでの送付などに便利）
→小さい画素数を選ぶ

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：（アスペクト設定（P. 51）を先に選んでおく）

アスペクト設定	記録画素数の種類		
4:3	7M (3072x2304)	5M EZ (2560x1920)	3M EZ (2048x1536)
	2M EZ (1600x1200)	1M EZ (1280x960)	0.3M EZ (640x480)
3:2	7M (3216x2144)	4.5M EZ (2560x1712)	2.5M EZ (2048x1360)
16:9	6M (3328x1872)	3.5M EZ (2560x1440)	2M EZ (1920x1080)

●EZの付いた画素数を選ぶと、EX 光学ズーム（P. 27）が使えます。

●シーンモードの「高感度」（P. 44）では、EZは表示されません。
（EX 光学ズームが使えないため）

●被写体や撮影状況によっては、モザイク状になることがあります。

クオリティ

保存するときの圧縮率を設定します。この設定と「記録画素数」（左記）で撮影できる枚数が決まります。（P. 94）

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：

- **：ファイン（画質を優先するとき）**
- **：スタンダード（標準の画質で、画素数を変えずに記録枚数を増やすとき）**

音声記録

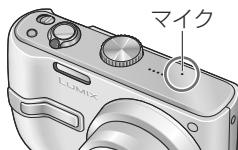
撮影と同時に音声も記録できます。会話やメモの記録に便利です。

マイク

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：

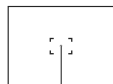
- **OFF：録音しない**
- **ON：撮影と同時に約 5 秒間録音（画面に を表示）**

●録音中に中止：[MENU/SET] を押す。
●「連写」（P. 55）や「オートブラケット」（P. 38）、シーンモードの「星空」（P. 44）では、録音できません。
●音声付き静止画は「日付焼き込み」、「リサイズ」、「トリミング」、「アスペクト変換」ができません。
●再生時のスピーカー音量→（P. 22）
●メモ撮影メニューの「音声記録」（P. 60）にも、反映されます。

測光モード

露出（P. 38）の測りかたを変えることができます。

■使えるモード：

■設定：

- **評価測光：画面全体の明るさを測るとき。通常使用推奨。**
- **中央重点測光：画面中央に重点を置いて、画面を平均的に測るとき。**
- **スポット測光：被写体と背景の明るさが、極端に異なるとき。（舞台上の、スポットライトが当たった人物を撮るときなど）**

スポット測光ターゲット（この部分の露出を測る）

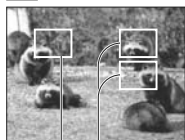
AF AFモード

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせかたを変えられます。

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：[9点] ／ [3点高速]H ／ [1点高速]H ／ [1点] ／ [スポット]　（H：高速ピント）

●被写体が中央にないとき(ピントがすべて合ってから、AF エリアを表示します)

(9 点)

9 点のいずれかに自動でピントが合う。

AF エリア

H（3 点高速）

左右、中央のいずれかに自動でピントが合う。

AF エリア

●ピントを合わせる位置が決まっているとき

H（1 点高速）
（1 点）

画面中央のAF エリアにピントが合う。
(ピントが合いにくいときにおすすめ)

AF エリア

（スポット）

限られた狭い範囲内にピントが合う。

スポット AF エリア

●Hまたは Hにすると、ピントが合う前に画像が一時停止することがあります。

●暗い場所や、デジタルズーム時などはAF エリアは大きくなります。

AF エリア

●でピントが合いにくいときは、Hまたはにしてください。

連写

［シャッター］を押している間、連続して写真を撮ることができます。

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定

連写設定	速度※1	枚数※2
OFF	連写しない	
H（高速）	3 枚 / 秒	ファイン：最大 5 枚
L（低速）	2 枚 / 秒	スタンダード：最大 7 枚
∞（フリー）	約 2 枚 / 秒※3	カード、内蔵メモリーがいっぱいになるまで

※1　シャッタースピード、ISO 感度の設定によって変わる。

※2　セルフタイマー使用時：3 枚に固定。

※3　途中から遅くなる。（遅くなるタイミングは、カードの種類、記録画素数、クオリティによります）

● ISO 感度（P. 51）が「ISO400」以上になる場合、または、暗い場所でシャッタースピードが遅くなる場合は、連写速度が遅くなることがあります。

●フラッシュ（P. 36）が光るとき（フラッシュマークが赤になる）、「オートブラケット」（P. 38）設定中はできません。

●電源を切っても、設定は記憶されます。　●ピントは 1 枚目で固定されます。

●露出とホワイトバランスは次のようになります。

　●高速：1 枚目撮影時の設定で固定。　●低速、フリー：1 枚ごとに再設定。

●明暗差の大きい場所で動きのある被写体を追いながら連写した場合、露出の安定に時間がかかるため、最適な露出にならないことがあります。

●「オートレビュー」の設定にかかわらず、1 枚撮るごとにオートレビューされます。

C-AF AF 連続動作

動きに合わせて連続的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：

OFF：設定しない

ON：設定する（画面に C-AF を表示）

●ズームを W 端から一気に T 端に回したり、急に被写体に近づくと、ピントが合うのに時間がかかることがあります。

●ピントが合いにくいときは、［シャッター］を半押ししてください。

●「AF モード」（P. 54）が、「■H」「■」「•」のときは、［シャッター］を半押ししたときにピントが早く合います。

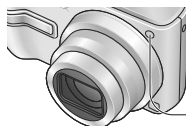
●動画撮影中は動作しません。

撮影メニューを使う（続き）

AF補助光

暗いときにランプを点灯させ、ピントを合わせやすくします。

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：　OFF　：ランプ消灯（暗やみで動物などを撮るときなど）
　　　　ON　：［シャッター］半押しでランプが点灯
　　　　　　（と、大きなAFエリアが表示される）

●ランプを近くで見たり、指でふさがないでください。
●かんたんモード［♥］では、「ON」に固定されます。
●有効距離：1.5m

SLOW スローシャッター

暗い場所で明るく撮るときなど、シャッタースピードを遅くできます。

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：　1/8-（通常推奨）／1/4-／1/2-／1-

●遅いほど明るく撮れますが、手ブレしやすくなるため、三脚とセルフタイマー（P. 35）の使用をおすすめします。
●「夜景＆人物」（P. 42）で、夜景も人物も明るく撮りたいときなどにも。
●「1/8-」以外を選択時、画面に SLOW を表示します。

デジタルズーム

光学ズーム、またはEX光学ズームの最大4倍に拡大します。（P. 27）

■使えるモード：SCN1 SCN2

■設定：　OFF：使わない／ON：使う

●かんたんモード［♥］、インテリジェントISO感度モード［］、シーンモードの「スポーツ」、「赤ちゃん」、「ペット」、「高感度」では、設定できません。

カラーモード

色の効果を設定します。

■使えるモード：

■設定：　標準／ナチュラル（柔らかく）／ヴィヴィッド（くっきり）
　　　　クール（青っぽく）／ウォーム（赤っぽく）／白黒／セピア

●暗い場所でノイズが目立つとき：「ナチュラル」に設定します。
●動画撮影モードのとき：「ナチュラル」「ヴィヴィッド」は選べません。
●「クール」、「ウォーム」、「白黒」、「セピア」に設定すると、「ホワイトバランス微調整」（P. 50）はできません。

●静止画の撮影モード（ [camera] [intelligent auto] [macro] ）と動画撮影モード（ [motion picture] ）は、個別に設定されます。

時計設定

時計を設定します。セットアップメニューの「時計設定」と同じ機能です。（P. 16）

撮影メニューの 項目を簡単に呼び出せます（クイック設定）

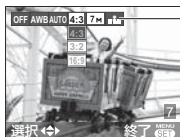
選べる項目は次の通りです。
●連写（P. 55）●ホワイトバランス（P. 50）（ [white set] は除く）
● ISO 感度（P. 51） ●アスペクト設定（P. 51）●記録画素数（P. 52）
●クオリティ（P. 53）

1 「 [camera] [macro] [motion picture] SCN1 SCN2 [intelligent auto] 」いずれかに合わせる

2 「クイック設定」を表示する

FUNC
長押し

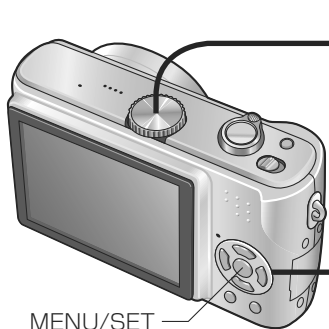
クイック設定

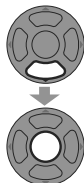
3 項目を選ぶ

項目
設定

4 設定を選び、決定する（完了）

●撮影メニューを使う

メモを撮る／見る
（メモモード）

メモ画像を撮る（メモ撮影）

1 「」に合わせる

2 「メモを撮る」を選ぶ

初期画面　「メモを撮る」をオレンジ色にする

3 メモを撮る

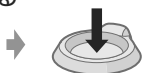
半押し（ピント合わせ）

全押し（撮影する）

●**使用できない機能**
「連写」、「デジタルズーム」、「オートブラケット」、「ホワイトバランス微調整」、「AF 連続動作」。

●**固定される機能**
「アスペクト設定」：4:3
「クオリティ」：
「ISO 感度」：AUTO
「セルフタイマー」：OFF/2 秒
上記以外は、かんたんモード（P. 28）で固定される機能と同じです。（ただし、「手ブレ補正」（P. 39）は設定可能）

●**内蔵メモリーの容量がなくなったら**
- 不要なメモ画像は、メモ再生モードにして削除する（P. 32）。（必要な画像はカードにコピーしておく→ P. 60）
- 他の撮影モード（「」など）の画像は、カードを抜いて、再生モード「」にして削除する。

●**著作権などにお気をつけください。**（P. 10）

●内蔵メモリーを「メモ画像」撮影だけに使用した場合の枚数

記録画素数	2M EZ	1M EZ
記録可能枚数	24 枚	36 枚

●他の撮影モード（「」など）で内蔵メモリーに記録（P. 26）すると、上記の記録可能枚数から減ります。

●撮影したメモ画像をすぐ見るとき（確認）：▼を押す。（）（撮影に戻るときは［シャッター］を半押しする）

●記録画素数を変える→ P. 60

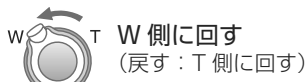
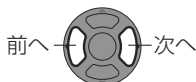
時刻表や路線図などをメモがわりに撮るときに便利です。
カードの有無に関わらず、**常に内蔵メモリーのメモ専用のフォルダーに保存されます**ので、普通の撮影画像と区別でき、すぐに見ることもできます。

メモ画像を見る（メモ再生）／消す

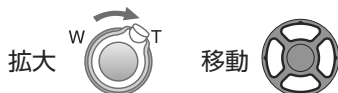
左記、手順❷で「メモを見る」を選ぶ

■ 1 枚ずつ送る

■ 9 画面で表示する

W 側に回す
（戻す：T 側に回す）

●メモ画像を選び、[MENU/SET] を押すと、1 画面表示になります。

■拡大して見る ➡ 「再生ズーム」（P. 31）

「再生ズーム」（P. 31）

●**拡大した状態を記憶させるには（ズームマーク）：**
地図などの一部を拡大して記憶させておくと便利です。

①拡大の大きさと位置を決めて

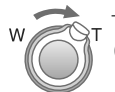
②押す

[+]ズームマーク
記憶させた画像に表示

●ズーム倍率や位置を変えたいとき：上記を繰り返し操作する。
●ズームマークの設定を終わるとき：ズーム倍率を W 側（1 倍）に戻す。

●**記憶させた大きさ、位置で見るには：**

[+]の付いた画像を表示

T 側に回す
（拡大、移動の操作は不要）

すぐにその大きさ、位置で表示

■メモ画像を削除する ➡ P. 32

●ズームマーク付き画像を削除すると、ズーム前の画像も見ることができなくなります。
●ズームした状態でも削除できます。

●見ている途中で、メモ撮影に切り換えるとき：[シャッター] を半押しする。( )
●再生メニュー（P. 64）の機能は使用できません。
他の撮影モードで撮った画像を「画像回転」（P. 66）し、メモ画像として「コピー」（P. 73）した場合も、回転する前の状態で表示されます。
●メモ再生時の「ビデオ出力」（P. 79）およびプリント（P. 76）は、できません。

メモを撮る／見る（続き）

メモ撮影メニュー／メモ再生メニュー

撮影時、または再生時に［MENU/SET］を押すと表示します。

■メモ撮影メニュー

項目を選ぶ

お買い上げ時の設定：□

●メモ再生へ移動：メモ画像を見るとき。

●記録画素数：画素数を変えるとき。

（2M EZ（枚数よりも、きめ細かさを優先）／1M EZ）

▲▼で画素数を選び、［MENU/SET］を押す。

●音声記録：音声（5 秒間）を同時に記録するとき。**（OFF ／ ON）**

▲▼で設定を選び、［MENU/SET］を押す。

（撮影メニューの「音声記録」(P. 53）にも反映されます）

●メモモード初期画面：初期画面（P. 58）を表示するとき。

(OFF(表示しない)／ ON (表示する))▲▼で設定を選び、[MENU/SET]を押す。

●時計設定：セットアップメニューの｢時計設定｣と同じ機能です。(P. 16)

■メモ再生メニュー

項目を選ぶ

●メモ撮影へ移動：メモ画像を撮るとき。

●ズームマーク解除：ズーム位置を解除するとき。

①◀▶でメモ画像を選ぶ。　②▼で解除する。

●アフレコ：メモ画像に後から音声を追加するとき。

①◀▶でメモ画像を選ぶ。　②▼で録音を始める。　③▼で停止する。

●コピー：メモ画像をカードへ 1 枚ずつコピーするとき。

（ズームマークはコピーされません）

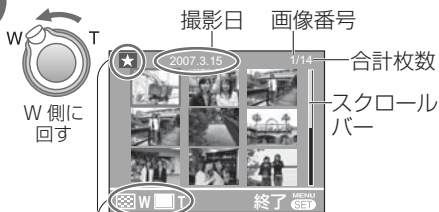
①◀▶でメモ画像を選び、▼を押す。 ②▲▼で｢はい｣を選び、[MENU/SET]を押す。

●メモモード初期画面：上記の「メモ撮影メニュー」と同じ方法です。

一覧で見る
(マルチ再生／カレンダー再生)

一度に 9 画面（または 25 画面）で表示（マルチ再生）したり、
撮影日ごとにまとめて表示（カレンダー再生）することができます。
（メモ画像を一覧で見るとき→ P. 59）

1 「▶」に合わせる

2 複数画面表示にする

画像の種類を表示
（お気に入り[★]、動画撮影[ ]、赤ちゃん[ ]、ペット[ ]、トラベル日付 [ ]、ワールドタイム[ ]、日付焼き込み[ ]）

- 回すたびに、1 画面→ 9 画面→ 25 画面→カレンダー画面と変わる。
- 戻すとき：T 側に回す。

■カレンダー画面のときは日付を選ぶ

●月：▲▼　●日：◀▶

3 ▲▼◀▶で画像を選び、[MENU/SET] を押す

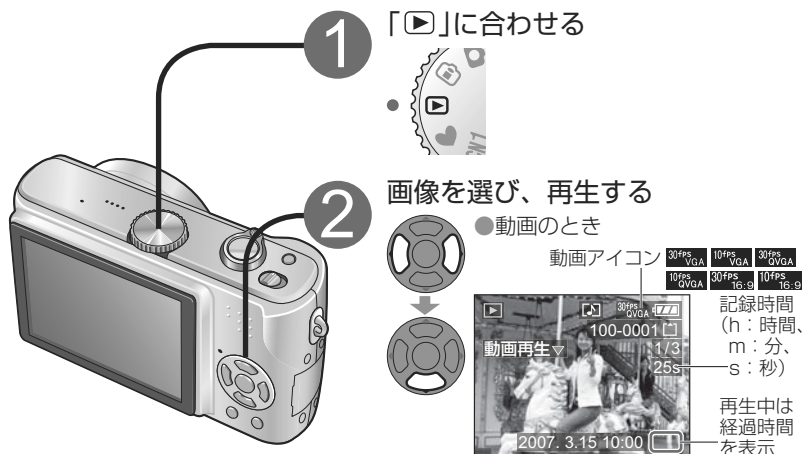
- 9 画面で表示される。[MENU/SET] を押すと、1 画面表示になる。

- パソコンで編集した画像は、撮影日が変わったり、正常に再生できないことがあります。
- カレンダー画面は、撮影画像のある月のみ表示されます。また、時計設定せずに撮影した画像は、2007 年 1 月 1 日に表示されます。(P. 16)
- **カレンダー再生で同じ日に撮影した画像を表示しているとき、「全画像削除」または「★以外削除」をすると、別の日に撮影した画像もすべて削除されます。**
- 回転表示はできません。

動画・音声付き静止画を見る(再生)

1 「▶」に合わせる

2 画像を選び、再生する

●動画のとき

●音声付き静止画のとき

🎵 音声アイコン

■動画再生中の操作

■音量調整するには➡「スピーカー音量」(P. 22)

●パソコンでは、CD-ROM(付属)の「QuickTime(クイックタイム)」で再生できます。
●他機で撮影した動画は、正しく再生できないことがあります。
●大容量のカードを使用時、早戻しが遅くなることがあります。
●動画再生中/一時停止中、音声再生中は再生ズームできません。
●音声付き静止画の作成→音声記録(P. 53)、アフレコ(P. 70)

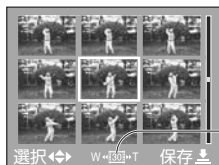
応用(見る) 3 動画から静止画を作る

1 再生中に、静止画を作りたいところで一時停止する

（再生の方法について→左記）

●再び再生する：▲を押す。
●コマ送りする：◀▶を押す。

■停止中の 1 コマを 1 枚の画像にするとき➡ 手順❷へ

■前後 9 コマを 1 枚の画像にするとき

●コマ送りするには
3 コマずつ送る：▲▼を押す。
1 コマずつ送る：◀▶を押す。

1 秒あたりのコマ数

● 1 秒あたりのコマ数を変える：再度 W 側に回す。(T 側に回すと設定が戻る)

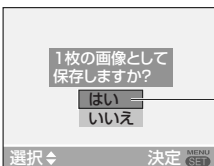
画質	1 秒あたりのコマ数
30fps QVGA　30fps VGA　30fps 16:9	30→15→10→5
10fps QVGA　10fps VGA　10fps 16:9	10→5

(例)15コマ：1/15秒ごとの画像を静止画で表示

● 9 画面を 1 枚の画像にしたものは、リサイズ（P. 70）やアスペクト変換（P. 72）はできません。

2 静止画を作る

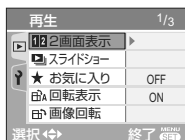
全押し

3 「はい」を選ぶ

「はい」をオレンジ色にする

●作成した静止画の画素数

画質	1 画面のとき	9 画面のとき
30fps VGA　10fps VGA	0.3M	2M
30fps QVGA　10fps QVGA	0.3M	1M
30fps 16:9　10fps 16:9	2M	2M

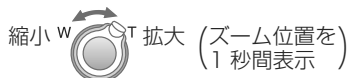
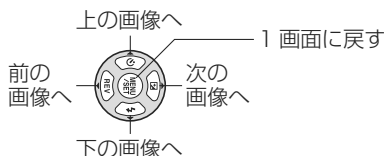
●クオリティは、[icon]に固定されます。（P. 53）

▶再生メニューを使う

●再生メニューの設定は（P. 18）
●カードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像（メモ画像以外）が対象になります。

2 画面表示

画像を縦に 2 枚並べて表示します。比較して見たいときに便利です。

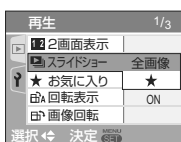
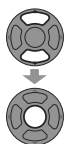
❶ **再生メニューから「2 画面表示」を選ぶ**（P. 17、18）

❷ **画像を見る**

●同じ画像を上下同時には、表示できません。

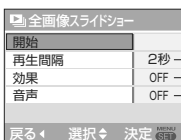
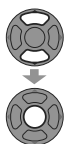
スライドショー

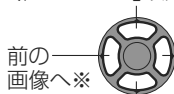
自動で順送りして再生します。テレビで見るときにおすすめです。

❶ **再生メニューから「スライドショー」を選ぶ**（P. 17、18）

❷ **「全画像」または「★」を選び、決定する**（お気に入りが「OFF」のときは、手順❸へ）

全画像：すべて再生。
★　：お気に入り（P. 65）に設定した画像のみ再生。

撮影した画像のいろいろな再生や編集ができます。
モードダイヤルは、▶ に合わせてください。

❸「開始」を選び、決定する（P. 17、18）

●「開始」の前にお好みで設定する
- 再生間隔（秒）
  「MANUAL」(手動で再生)は「★」選択時のみ可能
- 次画面への切り換わりかた（「MANUAL」時以外）
  - スライド切換
  - 徐々に切換
  - 中央から四方へ切換
  - MIX 上記 3 つをランダムに使う
- 音声つき静止画の音声も再生するときは「ON」に設定

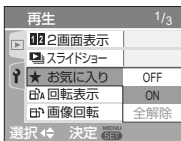
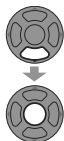
■スライドショー中の操作

※一時停止中または「MANUAL」でスライドショー中のみ。

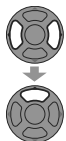
●動画はスライドショーで再生できません。

★ お気に入り

気に入った画像に印をつけます。設定すると以下のことができます。
●お気に入りのみでスライドショー（P. 64）
●お気に入り以外を全削除（お店にプリント依頼するときなどに便利）（P. 32）

❶ 再生メニューから「お気に入り」を選ぶ（P. 17、18）

❷「ON」を選び、決定する

❸ メニューを閉じる

❹ 画像を選び、設定する（くり返す）

★設定すると表示されます
（「OFF」のときは表示されません。）
●999枚まで設定可能です。
●解除→再度▲を押す。

■全て解除➡手順❷で、①▼で「全解除」を選ぶ。　②▲で「はい」を選び、
③［MENU/SET］を押す。　④［MENU/SET］を押して終了。

●他機で撮影した画像には設定できない場合があります。
●付属のソフトウェア（P. 11）でも、設定・解除ができます。

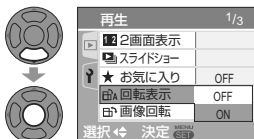
再生メニューを使う(続き)

回転表示　画像回転

縦向きに撮った画像を自動で回転して横向きに表示したり、手動で 90 度ずつ回転します。

回転表示（自動で回転して表示）

1 再生メニューから「回転表示」を選ぶ （P. 17、18）

2 「ON」を選び、決定する

■終了 ➡ ［MENU/SET］を押す。

●「OFF」のときは、「画像回転」もできません。

画像回転（手動で回転させて表示）

1 再生メニューから「画像回転」を選ぶ （P. 17、18）

2 画像を選び、決定する

3 回転方向を選び、決定する

↷：時計回りに 90° 回転
↶：反時計回りに 90° 回転

■終了 ➡ ［MENU/SET］を 2 回押す。

●動画は、「回転表示」や「画像回転」はできません。
●プロテクト（P. 69）した画像は、「画像回転」できません。
●本機を上や下に向けて撮影したものは、自動で回転されない場合があります。
●他機で撮影した画像にはできない場合があります。
●マルチ再生（P. 61）では、回転して表示されません。
●パソコンでは Exif（P. 92）に対応した環境（OS、ソフトウェア）でのみ、回転して表示されます。

日付焼き込み

撮影日時､年齢･月齢（P. 44）､トラベル日付（P. 48）を画像の右下に焼き込みます。L サイズのプリントに適しています。

●記録画素数が 3M より大きい場合、記録画素数が小さくなります。
●画像が少し粗くなります。

アスペクト比	記録画素数
4：3	7M、5M
3：2	7M、4.5M
16：9	6M、3.5M

➡

焼き込み後
3M
2.5M
2M

❶ 再生メニューから「日付焼き込み」を選ぶ（P. 17、18）

❷「1 枚設定」か「複数設定」を選び、決定する

❸ 画像を選び、設定する

● 1 枚のとき

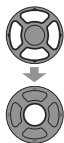
●複数のとき（50 枚まで）

日付焼き込み設定

●日付を焼き込み済みのものには ☑ を表示。

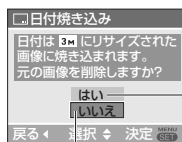
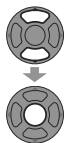
●設定解除：▼を押す。

●設定を終わる：[MENU/SET] を押す。

❹ 項目を選び、それぞれ設定する

月齢などを焼き込むには「ON」を選ぶ。

●「日付」は撮影年月日、「日時」はさらに時刻まで焼き込みます。

❺ 元の画像を削除するかを選び、決定する

（画面は画素数などによって変わります）

「はい」：日付を焼き込む。（元の画像は削除）

「いいえ」：焼き込んだ画像を新しく作成する。（元の画像も残す）

●プロテクト（P. 69）している画像は、「いいえ」を選ぶ。

■終了➡ [MENU/SET] を 2 回押す。

■焼き込んだ日付を確認するとき➡「再生ズーム」（P. 31）

●他機で撮影したもの、時計を設定せずに撮影したもの、動画、音声付き静止画には設定できません。

●日付を焼き込むと、画像のリサイズ（P. 70）、トリミング（P. 71）、アスペクト変換（P. 72）、日付の再焼き込み、DPOF プリントの日付プリント設定（P. 68）は日付焼き込みできません。

●プリンターによっては文字が切れることがあります。

●日付焼き込み済みの画像は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）

▶ 再生メニューを使う(続き)

DPOF(ディーポフ) プリント

DPOF プリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、
画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。
(対応しているかどうかはお店に確認してください)

❶ 再生メニューから「DPOF プリント」を選ぶ (P. 17、18)

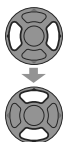
❷「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する

❸ 画像を選び、プリント枚数を設定する(くり返す)

● 1 枚設定のとき

枚数
日付プリント表示

●複数設定のとき

枚数
日付プリント表示

■日付プリント設定/解除➡ [DISPLAY] (P. 12)を押す。
(日付焼き込み (P. 66)済みのものには、設定できません)

■終了➡ [MENU/SET] を 2 回押す。

■全て解除➡手順❷で、①▼で「全解除」を選ぶ。 ②▲で「はい」を選び、
③ [MENU/SET] を押す。 ④ [MENU/SET] を押して終了。

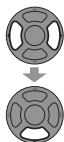
● PictBridge 対応プリンターでは、プリンター側のプリント設定が優先されることがあるため、ご確認ください。
●内蔵メモリーの画像をお店でプリントするときは、まずカードにコピー (P. 73)してから設定してください。
● DCF 規格 (P. 92)に準拠していないファイルには設定できません。
●設定は 1 枚ずつです。一括で設定はできません。
●他機で行った DPOF 設定がある場合は、すべて解除してから再設定してください。
●日付プリント設定は、日付焼き込み (P. 66)を行うと解除されます。

プロテクト

大切な画像の削除を防止します。設定すると、削除できなくなります。

1 再生メニューから「プロテクト」を選ぶ (P. 17、18)

2 「1 枚設定」または「複数設定」を選び、決定する

3 画像を選び、設定する

● 1 枚設定のとき　●複数設定のとき

プロテクト設定

■解除 ➡ ▼を押す。

■終了 ➡ [MENU/SET] を 2 回押す。

■全て解除 ➡ 手順❷で、①▼で「全解除」を選ぶ。　②▲で「はい」を選び、
③ [MENU/SET] を押す。　④ [MENU/SET] を押して終了。

■全解除中に中止するとき ➡ [MENU/SET] を押す。

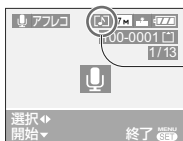
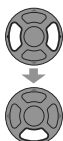
●本機以外では無効になることがあります。
●プロテクトしてもフォーマット (P. 73) すると削除されます。

▶再生メニューを使う(続き)

アフレコ

画像に後から音声をつけることができます。

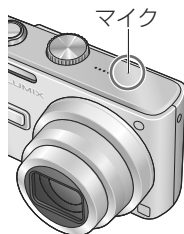
❶ 再生メニューから「アフレコ」を選ぶ (P. 17、18)

❷ 画像を選び、録音を開始する

すでに音声がある場合
次のいずれかを▲▼で選び、[MENU/SET] を押す。
- 「はい」:そのまま録音する(上書きされ、すでにある音声は消えます)
- 「いいえ」:録音しない

❸ 録音を止める

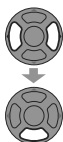
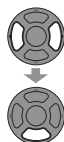
●録音は、開始より約 10 秒で自動的に終了します。

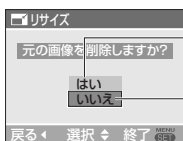
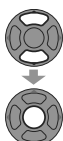
■終了➡ [MENU/SET] を 2 回押す。

●動画やプロテクト (P. 69) した画像はできません。
●他機で撮影した画像には、録音できない場合があります。

リサイズ

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。(各アスペクト設定の最低画素数に設定している画像は、それ以上小さくできません)

❶ 再生メニューから「リサイズ」を選ぶ (P. 17、18)

❷ 画像を選び、決定する

❸ サイズを選び、決定する

現在のサイズ
変更後のサイズ

❹ 元の画像を削除するかを選び、決定する

「はい」:リサイズする。(元の画像は削除)
●プロテクト (P. 69) している画像は、「いいえ」を選ぶ。
「いいえ」:リサイズした画像を新しく作成する。(元の画像も残す)

■終了➡ [MENU/SET] を 2 回押す。

●動画や音声つき静止画、日付焼き込み済の画像はできません。
●他機で撮影した画像には、できない場合があります。

✂ トリミング

画像を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

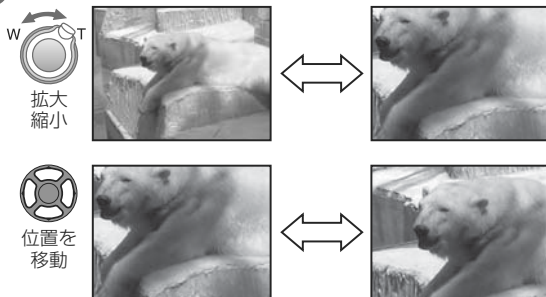
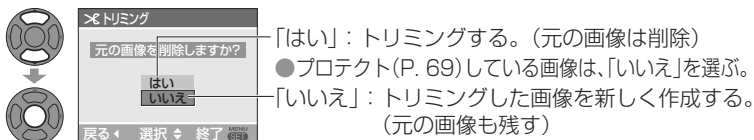
1 **再生メニューから「トリミング」を選ぶ**（P. 17、18）

2 **画像を選び、決定する**

3 **画像を切り抜く部分を選ぶ**

4 **切り抜く**

5 **元の画像を削除するかを選び、決定する**

「はい」：トリミングする。（元の画像は削除）
●プロテクト(P. 69)している画像は、「いいえ」を選ぶ。
「いいえ」：トリミングした画像を新しく作成する。（元の画像も残す）

■終了➡ ［MENU/SET］を 2 回押す。

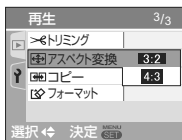
●トリミングすると画質は劣化します。
●動画、音声つき静止画、日付焼き込み済の画像はできません。
●他機で撮影した画像には、できない場合があります。

▶ 再生メニューを使う(続き)

アスペクト変換

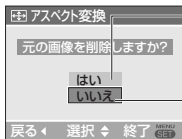
16:9 で撮影した画像を、プリント用に 3:2 または 4:3 に変換できます。(P. 51)
(16:9 以外で撮った画像はできません)

1. 再生メニューから「アスペクト変換」を選ぶ (P. 17、18)

2. 3:2 または 4:3 を選び、決定する

3. 画像を選び、決定する

4. 左右の位置を決め、変換する

この枠の大きさに変換
●縦の画像は
▲▼で移動させる。

5. 元の画像を削除するかを選び、決定する

「はい」：この画像をアスペクト変換する。
(元の画像は削除)
●プロテクト(P. 69)している画像は、「いいえ」を選ぶ。
「いいえ」：アスペクト変換した画像を新しく作成する。(元の画像も残す)

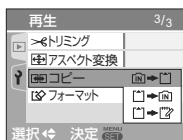
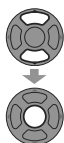
■終了➡ [MENU/SET] を 2 回押す。

●アスペクト変換すると、画素数が大きくなることがあります。
●動画や音声付き静止画、DCF 規格 (P. 92) に準拠していないファイルはできません。
●他機で撮影した画像には、できない場合があります。

コピー

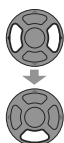
内蔵メモリーとカード間のコピー、カードからメモ専用フォルダーへのコピーができます。

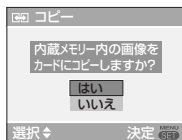
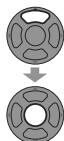
❶ 再生メニューから「コピー」を選ぶ（P. 17、18）

❷ コピーのしかた（方向）を選び、決定する

[IN] ➡ [カード]：内蔵メモリーからカードへ、メモ画像以外の全画像をコピー。（手順❹へ）

[カード] ➡ [IN]：カードから内蔵メモリーへ、1 枚コピー。

[カード] ➡ [メモ]：カードからメモ専用フォルダー（内蔵メモリー）に1 枚コピー。（動画以外）

❸ [カード] ➡ [IN] や [カード] ➡ [メモ] のときは、画像を選び、決定する

■終了➡［MENU/SET］を 2 回押す。

❹「はい」を選ぶ（画面は一例）

●「[IN] ➡ [カード]」の途中で中止するには：［MENU/SET］を押す。

●カードへのコピーは、空き容量 12.7MB 以上のカードをご使用ください。
●コピーには時間がかかることがあります。コピー中は、電源を切ったり他の操作をしないでください。
●同じフォルダー番号、ファイル番号(P. 75)がコピー先にあるもの、DPOF 設定（P. 68）はコピーされません。
●メモ画像をカードへコピーするには、メモ再生メニューの「コピー」を使います。(P. 60)
●当社製デジタルカメラの画像のみコピーできます。

フォーマット

「内蔵メモリーエラー」または「メモリーカードエラー」が表示されたときに行います。十分に充電したバッテリー(P. 14)または AC アダプター(別売：DMW-AC5)が必要です。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを抜いてください。（カード挿入状態では、カードのみフォーマットされます）

❶ 再生メニューから「フォーマット」を選ぶ（P. 17、18）

❷「はい」を選び、決定する

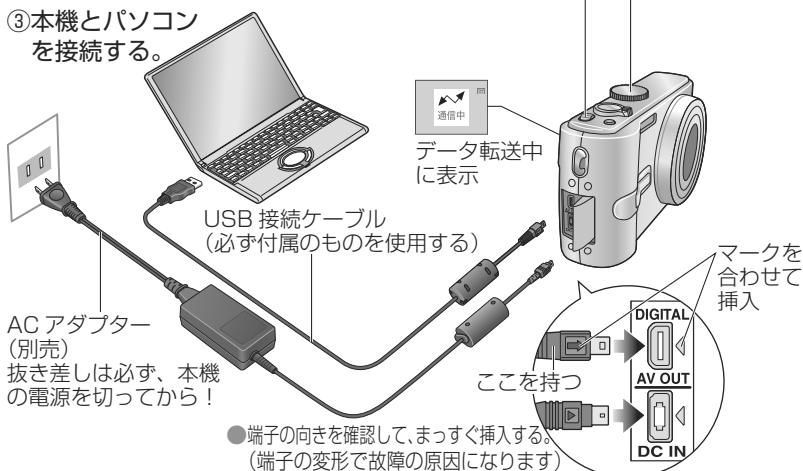
●メモ画像(P. 58)やプロテクト(P. 69)された画像も含め、すべてのデータが削除されます。
●フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。
●フォーマットできないときは、販売店にご相談ください。
●内蔵メモリーのフォーマットには時間がかかることがあります。中止するには、［MENU/SET］を押してください。（ただし画像はすべて削除されます）

パソコンに接続する（データ保存など）

準備：●十分に充電したバッテリー、または AC アダプター（別売：DMW-AC5）を用意（接続）しておく。
●内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。

①本機とパソコンの電源を入れる。

②「🖨」以外に合わせる。
（以降、接続中は、モードダイヤルを切り換えないでください）

③本機とパソコンを接続する。

●パソコンで動画を再生するとき
- ●付属 CD-ROM のソフトウェア「QuickTime」を使います。（Macintosh では標準搭載）
Windows 98/98SE/Me をご使用の場合は、下記サイトから「QuickTime6.5.2 for PC」をダウンロードしてインストールしてください。http://www.apple.com/jp/support/quicktime
- ●パソコンに動画を保存して再生してください。

●メモモードで接続すると、内蔵メモリーのみアクセスできます。

お願い

● Windows 98/98SE をご使用の場合、初めて接続したときに、USB ドライバーソフトウェアのインストールを行ってください。

●詳しくは、別冊「パソコン接続編」やパソコンの説明書をお読みください。

●「通信中」と表示中は USB 接続ケーブルを抜かないでください。

●カードの抜き差しは、電源を切って、USB 接続ケーブルを外してから行ってください。
Windows2000 では、カードを取り出す前に、パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」をしてください。

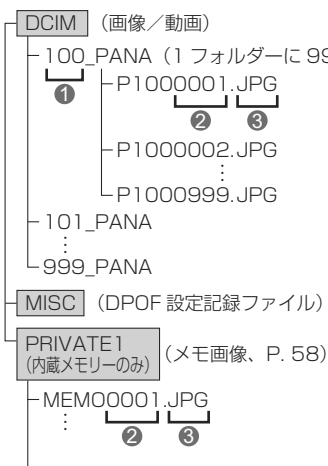
●バッテリー残量表示が赤点滅しているときは、パソコン側で接続を中止し、USB 接続ケーブルを抜いてください。（バッテリーを充電してから再度接続してください）

パソコンと接続すると、画像の保存やプリント、メールでの送信などができます。
（付属のソフトウェア（P. 11）を使用すると便利です）

パソコンでのフォルダー名とファイル名

Windows の場合
「マイコンピュータ」フォルダーにドライブが表示されます。

Macintosh の場合
デスクトップ上にドライブが表示されます。
（「LUMIX」、「NO_NAME」または「名称未設定」と表示されます）

■フォルダー構造（内蔵メモリー／カード）

❶フォルダー番号
❷ファイル番号
❸ JPG：画像　MOV：動画

- ファイルやフォルダーの番号をリセットする：「番号リセット」（P. 22）
- 以下のときは新しいフォルダーが作成されます。
  - フォルダー内にファイル番号 999 の画像がある状態で撮影したとき。
  - 同じフォルダー番号のあるカードを挿入したとき。（他社のカメラで撮影したものなど）
  - 「番号リセット」（P. 22）の実行後、撮影したとき。
- ファイル名を変えると、本機では再生できなくなることがあります。（ケタ数を変えず、番号を変えることはできます）

■ PTP（Picture Transfer Protocol）モードで接続する

Windows XP、Mac OS X をご使用の場合、プリントモード［🖨］に合わせて、パソコンと PTP モードで接続することもできます。

- カメラからパソコンへの画像の読み込みのみできます。
- カードの中に、1000 枚以上画像があると、取り込めない場合があります。
- パソコンと接続後に、［🖨］に合わせると、「プリンターと接続しなおしてください」と表示されます。
  このとき、［🖨］以外に合わせ、「通信中」と表示していない状態で、接続をやり直してください。

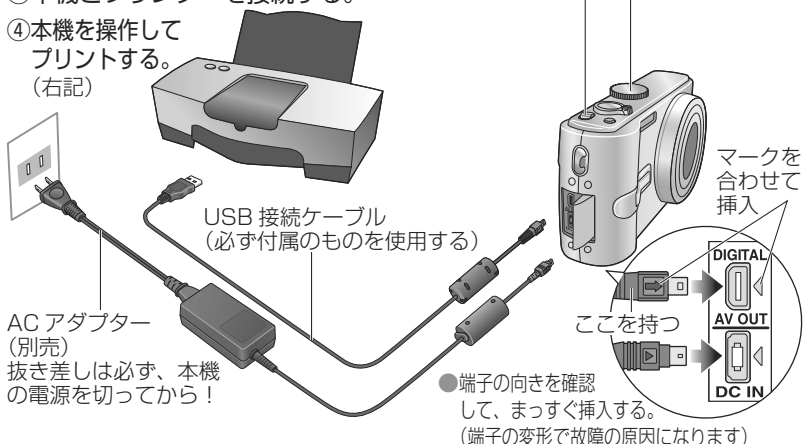
プリントする

準備：●十分に充電したバッテリー、または AC アダプター(別売：DMW-AC5)を用意(接続)しておく。
●内蔵メモリーの画像を使うときは、カードを抜いておく。
●プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。

①本機とプリンターの電源を入れる。

②「 」に合わせる。
（以降、接続中は、モードダイヤルを切り換えないでください）

③本機とプリンターを接続する。

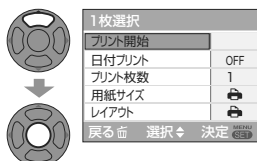
④本機を操作してプリントする。
（右記）

●バッテリー残量表示が赤点滅しているときは、プリントを中止し、USB 接続ケーブルを抜いてください。（バッテリーを充電してから再度接続してください）
●プリント中にオレンジ色の「●」が表示されたときは、エラーメッセージを受け取っています。プリンターを確認してください。
●プリント枚数が多いとき、複数回に分けてプリントされることがあります。（残り枚数の表示が、設定枚数と異なることがあります）

●ケーブル切断禁止アイコン「 」の表示中は、USB 接続ケーブルを抜かないでください。（プリンターによっては、アイコンが表示されません）
●カードの抜き差しは、電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。
●［ ］に合わせずに接続した場合、一度 USB 接続ケーブルを外して、［ ］に合わせてから、接続をやり直してください。（プリンターによっては、電源の入れ直しが必要です）
●接続後に［ ］以外に合わせると、「モードが変わりました　USB 接続ケーブルを抜いてください」と表示されます。このときは［ ］に戻し、プリント中のときはプリントを中止して、USB 接続ケーブルを外し、再度接続してください。
●メモモード［ ］の画像は、カードにコピー(P. 60)して、プリントしてください。

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

■画像を 1 枚ずつプリントする

1 プリントする画像を選び、決定する

2 「プリント開始」を選び、決定する

■途中でプリントを中止するとき

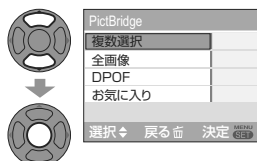
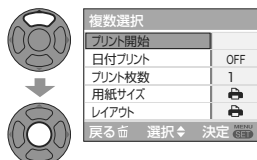
➡［MENU/SET］を押す

●プリントの各種設定は、必ず「プリント開始」の前に行ってください。(P. 78)

●プリントが終わったら、USB 接続ケーブルを外してください。

■複数の画像をプリントする

1 複数プリントを選ぶ

2 項目（下記）を選び、決定する

3 「プリント開始」を選び、決定する

●プリント確認画面が表示された場合は、「はい」を選んでください。

■複数画像プリントの項目

項目	内容
複数選択	◀▶で画像を選び、▼で決定した画像（［🖨］がついた画像）をプリントします。再度、▼を押すと、選択解除できます。選択が終了したら、［MENU/SET］を押す。
全画像	すべての画像をプリントします。
DPOF	「DPOF プリント」（P. 68）設定した画像をプリントします。
お気に入り※	「お気に入り」（P. 65）で設定した画像をプリントします。

※「お気に入り」（P. 65）が「ON」のとき表示されます。「お気に入り ★」を設定した画像がないときは、選べません。

プリントする（続き）

■**プリントの各種設定**（「プリント開始」の前に、設定（P. 77）をしてください）

項目	設定
日付プリント	OFF ／ ON（プリントするとき）
プリント枚数	枚数を設定
用紙サイズ	（プリンター優先：プリンターで設定したサイズになります） L/3.5”× 5”　(89 × 127mm) 2L/5” × 7”　(127 × 178 mm) はがき　(100 × 148 mm) A4　(210 × 297 mm) カード　(54 × 85.6 mm) 10 × 15cm　(100 × 150 mm) 4” × 6”　(101.6 × 152.4 mm) 8” × 10”　(203.2 × 254 mm) レター　(216 × 279.4 mm)
レイアウト	（プリンター優先）／（1 面ふちなし） （1 面ふちあり）／（2 面）／（4 面）

●プリンターが対応していない項目は選択できません。

●**本機が対応していない、用紙サイズやレイアウトでプリントするには**
「」を選び、プリンター側で設定します。
（プリンターの説明書をお読みください）
例）1 枚に同じ画像を 4 枚プリントするには：
　レイアウト設定：（4 面）　プリント枚数：4 枚
　（プリント枚数を 1 枚にすると、違う画像が 4 枚プリントされます）

●**日付プリントについて**
- お店に依頼する場合：DPOF 設定し（P. 68）「日付入りで」と依頼してください。
- プリンターを使う場合：DPOF 設定し（P. 68）日付プリント対応機をお使いください。
- 付属のソフトウェアを使う場合、印刷設定で「日付入り」を設定してください。
- シーンモードの「赤ちゃん」や「ペット」の月齢／年齢（P. 44）、「トラベル日付」（P. 48）の経過日数をプリントするには、付属のソフトウェア（P. 11）をご使用ください。（お店には依頼できません）
- DPOF 設定しても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。
- プリンター側の設定が優先される場合がありますので、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。
- 「日付焼き込み」（P. 66）した画像に日付プリントを設定しないでください。日付が重なって表示されます。

テレビで見る

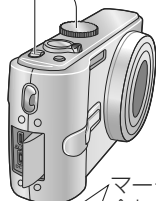
本機とテレビを付属の AV ケーブルで接続すると、画像をテレビで見ることができます。

準備：●本機とテレビの電源を切る。
　　　● TV アスペクト（P. 22）を設定する。

①本機とテレビを接続する。

②テレビの電源を入れる。
- 「外部入力」にする。

③本機の電源を入れる。

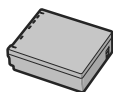
④「▶」に合わせる。（画像送り：◀▶を押す）

SD メモリーカードスロットのあるテレビではカードを入れて静止画のみ再生できます。
※マルチメディアカードは再生できないことがあります。

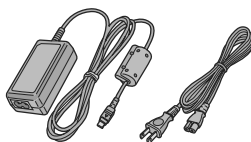
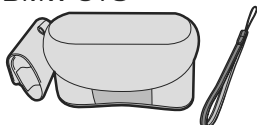
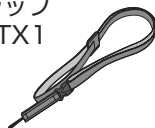
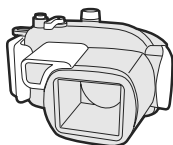
●端子の向きを確認して、まっすぐ挿入する。（端子の変形で故障の原因になります）

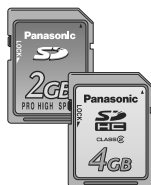
- テレビに表示できるのは、「▶」モードのみです。
- テレビの特性上、画像の端が多少切れて表示されたり、全画面で表示されないことがあります。また、縦に回転した画像は、多少ぼやけることがあります。
- ワイドテレビやハイビジョンテレビで横縦比が正しく表示されないときは、テレビ側で画面モードの設定を変更してください。
- テレビの説明書もお読みください。
- 画像が流れるなど正常に再生されないときは、「ビデオ出力」（P. 22）を「NTSC」に設定してください。

その他 Q&A 1

別売品のご紹介

品名：バッテリーパック
品番：DMW-BCD10

●付属のバッテリーパックと同じ性能です。
●旅行などの予備としてもおすすめします。

品名：AC アダプター
品番：DMW-AC5

品名：本革ケース
品番：DMW-CT3

品名：本革ストラップ
品番：DMW-NSTX1

品名：マリンケース
品番：DMW-MCTZ3

品名：SD メモリーカード
　　　SDHC メモリーカード※

●品番や種類は、以下のサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc

※2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2GB を超える大容量メモリーカードの新規格です。
SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。

■別売品は、販売店でお買い求めいただけます

松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

http://www.sense.panasonic.co.jp/

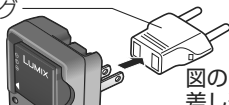
海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V ~ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがあります。

ただし、国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

■変換プラグの付けかた

- ご使用にならないときは変換プラグを電源コンセントから外してください。

■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF, B3	イタリア	C	オーストリア	C, SE	オランダ	C, SE	ギリシャ	A, B, B3, C, SE	スイス	A, B, C, SE
スウェーデン	B, C, SE	スペイン	A, C, SE	デンマーク	C	ドイツ	A, C, SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	B, C	フランス	A, C, SE	ベルギー	B, C, SE	ロシア	A, C, SE				
アジア											
インド	B, BF, B3, C	インドネシア	B, B3, C, SE	シンガポール	B, BF, B3	タイ	A, BF, C	大韓民国	A, C, SE	台湾	A, C, O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A, O	ベトナム	A, BF, C, SE	香港特別行政区	B, BF, B3, C	マカオ特別行政区	B, BF, B3, C	マレーシア	B, BF, B3, C
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A, B, C, O
中南米											
アルゼンチン	BF, C, SE	プエルトリコ	A, BF, C	ブラジル	A, C, SE	メキシコ	A, C, SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B, BF, B3	エジプト	BF, B3, C, SE	クウェート	B, B3, C	トルコ	A, B, C, SE	南アフリカ共和国	B, BF, B3, C	モロッコ	A, C, SE

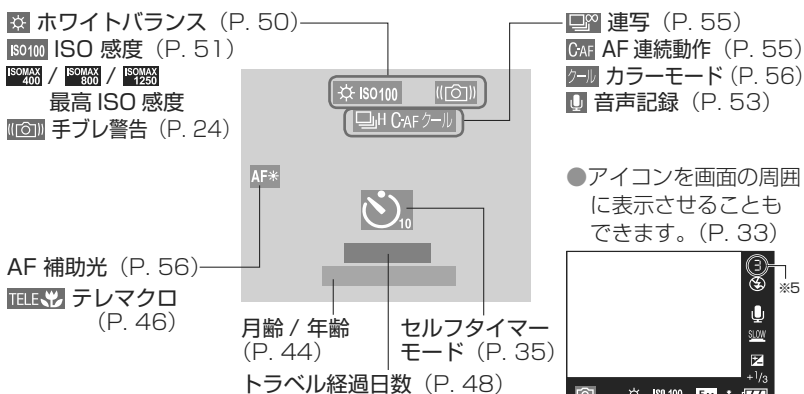
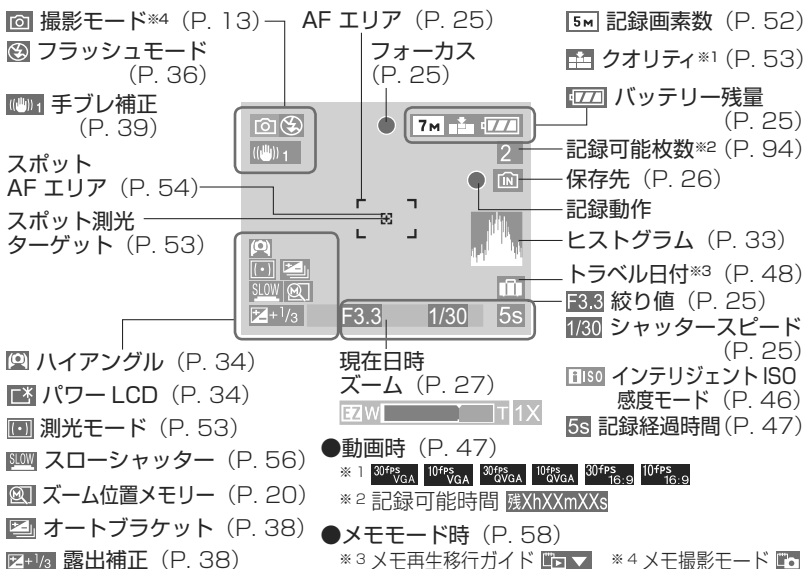
タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
形状							
変換プラグ	不要です						

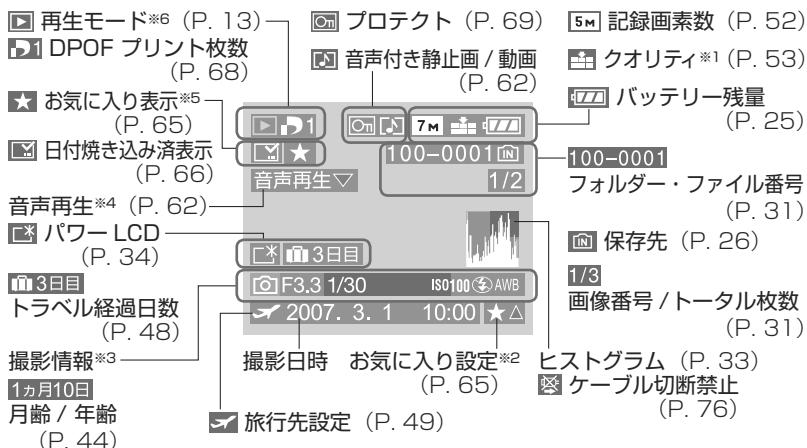
■海外のテレビで画像を見る

セットアップメニューの「ビデオ出力」で「NTSC」または「PAL」に設定してください。（P. 22）

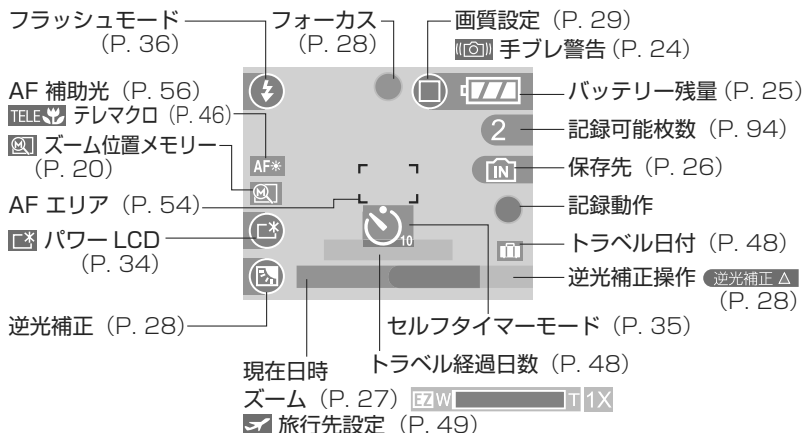
■時計を海外旅行先の時刻に合わせる

セットアップメニューの「ワールドタイム」で旅行先を設定すると、旅行先の時刻に切り換わります。（P. 49）

その他 Q&A 3 液晶モニターの表示一覧

※5 記録可能枚数・記録可能時間（秒）を表示。
（1000 枚（秒）以上のときは「+999」と表示されます）

再生時

かんたんモード時

フラッシュモード（P. 36）
フォーカス（P. 28）
画質設定（P. 29）
手ブレ警告（P. 24）
AF 補助光（P. 56）
TELE テレマクロ（P. 46）
ズーム位置メモリー（P. 20）
AF エリア（P. 54）
パワー LCD（P. 34）
逆光補正（P. 28）
バッテリー残量（P. 25）
2 記録可能枚数（P. 94）
保存先（P. 26）
記録動作
トラベル日付（P. 48）
逆光補正操作 逆光補正 △（P. 28）
セルフタイマーモード（P. 35）
トラベル経過日数（P. 48）
現在日時
ズーム（P. 27） EZ W T 1X
旅行先設定（P. 49）

メッセージ表示

このメモリーカードはロックされています

● SD メモリーカード、または SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除する。（P. 26）

表示できる画像がありません

●撮影するか、画像を記録したカードを入れる。

この画像はプロテクトされています

●「プロテクト」を解除してから削除などを行う。（P. 69）

削除できない画像があります／この画像は削除できません

● DCF 規格（P. 92）に準拠していない画像は削除できません。
→パソコンなどに必要なデータを保存してから、「フォーマット」（P. 73）して削除する。

設定枚数をこえました

●一度に複数削除できる枚数を超えています。
●お気に入り設定が 999 枚を超えています。
●一度に日付焼き込みできる枚数を超えています。

この画像には設定できません

● DCF 規格（P. 92）に準拠していない画像は DPOF 設定できません。

電源を入れ直してください

●レンズなどに手で力が加わり、正常に動作しませんでした。
→電源を入れ直す。
（それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください）

コピーできない画像がありました／画像をコピーすることができませんでした

●次の場合はコピーできません。
- 同名の画像がコピー先にある。
- DCF 規格（P. 92）に準拠していないファイル。
- 本機以外で撮影・編集された画像。

内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？

●内蔵メモリーをパソコンでフォーマットした場合などに表示されます。
→本機でフォーマットし直す。（P. 73）

液晶モニターに表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

メモリーカードエラー・フォーマットしますか？

●本機では認識できないフォーマットです。
→パソコンなどに必要なデータを保存してからフォーマット（P. 73）する。

メモリーカードエラー　カードを確認してください

●カードへのアクセスに失敗しました。
→カードを入れ直す。

● miniSD カードをアダプターに入れずに挿入した。
→必ずアダプターに入れる。

メモリーカードエラー　カードのパラメータが異常です

●カードが SD 規格に準拠していません。

● 4GB 以上のメモリーカードは、SDHC メモリーカードのみ使用できます。

リードエラー　カードを確認してください

●データの読み込みに失敗しました。
→カードが確実に挿入されているか確認する。（P. 15）

ライトエラー　カードを確認してください

●データの書き込みに失敗しました。
→電源を切ってからカードを抜き、再び挿入してから電源を入れる。

●カードが壊れている可能性があります。

カードの書込み速度不足のため記録を終了しました

●「画質設定」を「30fpsVGA」または「30fps16：9」に設定した場合、パッケージなどに「10MB/s」以上の記載のあるカードを使う。（P. 47）

●カードによっては途中で動画撮影が終了する場合があります。

フォルダーを作成できません

●フォルダー番号を 999 まで使っています。（P. 75）
→パソコンなどに必要なデータを保存してからフォーマット（P. 73）する。
「番号リセット」（P. 22）を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。

4:3TV 用で出力します／ 16:9TV 用で出力します

●本機に AV ケーブルが接続されました。
●メッセージをすぐに消す場合→ [MENU/SET] を押す。
●アスペクトを変更する場合→「TV アスペクト」を変更する。（P. 22）

● USB 接続ケーブルが本機のみに接続されました。
→ケーブルのもう一方を機器に接続すると消える。（P. 74、76）

Q&A 故障かな？と思ったら

■よくあるご質問

カード

使えるカードは？

●種類は（P. 15）、記録可能枚数は（P. 94）をお読みください。
カードは当社製をおすすめします。

撮影

画像が暗い、色合いが気になる

●露出を補正してください。（P. 38）
●色合いを調整したいときは、ホワイトバランスを調整します。（例：蛍光灯は「AWB」、白熱灯は「 ☼ 」など）
なお不十分なときは「手動で設定する SET 」をお試しください。（P. 50）

画像

撮影した画像を簡単にパソコンに転送するには？

●付属の USB 接続ケーブルで本機とパソコンを接続し（P. 74）、画像ファイルをパソコンのハードディスクにコピー（ドラッグ＆ドロップ）してください。
（付属のソフトウェア LUMIX Simple Viewer でもできます）
● USB リーダーライター（別売）を使う。

海外

旅行先で充電するには？

●その地域に合った変換プラグをご用意ください。（P. 81）

プリント

日付プリントするには？

●日付を焼き込んでからプリントする。(P. 66)(日付プリント指定は、しないでください)
●お店に依頼する場合：DPOF 設定し(P. 68)、「日付入りで」と依頼してください。
●プリンターの場合：DPOF 設定し（P. 68)、日付プリント対応プリンターをお使いください。
●付属のソフトウェアの場合(P. 11)：印刷設定で「日付入り」を設定してください。

まず以下の方法を（P. 86～91）をお試しください。それでも解決できない場合は、セットアップメニューの「設定リセット」を行うと症状が改善する場合があります。（ただし、設定は「時計設定」など一部を除き、お買い上げ時の状態に戻ります）

バッテリー、電源について

電源を入れても動作しない。

●バッテリーが正しく入っていない。（P. 15）または、消耗している。（P. 14）

電源が入っているのに液晶モニターが消灯する。

●「パワーセーブ」や「エコモード」が働いている。（P. 20）
→［シャッター］を半押しして解除する。

●バッテリーが消耗している。（P. 14）

電源を入れてもすぐ切れる。

●バッテリーが消耗している。（P. 14）

●「パワーセーブ」が働いている。（P. 20）

●電源を入れたまま放置した。（バッテリーが消耗します）
→「パワーセーブ」や「エコモード」を使う。（P. 20）

撮影について

撮影できない。

●モードダイヤルが撮影できるモードになっていない。

●内蔵メモリーやカードの残量がない。→不要な画像を消して容量を増やす。（P. 32）

撮影した画像が白っぽい。

●レンズが汚れている。（指紋などの汚れがついている）
→電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふく。

●結露している（P. 10）

撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。

●暗い場所で撮影している。または、晴天の空や雪など明るい被写体が画面の大半を占めている。（液晶モニターと撮影した画像の明るさが異なる場合があります）→露出を補正する。（P. 38）

シャッターを 1 回押すと、2～3 枚撮影される。

●「オートブラケット」や撮影メニューの「連写」を使う設定にしている。（P. 55）

ピントが合わない。

●被写体までの距離に応じたモードになっていない。（撮影モードによって撮影可能範囲が異なります）

●撮影可能範囲から外れている。

●手ブレや被写体ブレしている。（P. 39、46）

撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。

●暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。
→脇を締め、本機を両手でしっかり持って撮影する。（P. 24）

●「スローシャッター」（P. 56）設定時は、三脚とセルフタイマー（P. 35）を使う。

Q&A 故障かな？と思ったら (続き)

撮影について（続き）

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

●ISO 感度が高い、または、シャッタースピードが遅い。
（お買い上げ時は ISO 感度が「AUTO」のため、屋内などの撮影ではノイズが出ます）
→「ISO 感度」を低くする。（P. 51）
→「カラーモード」を「ナチュラル」にする。（P. 56）
→明るい場所で撮影する。

●シーンモードの「高感度」にしている。（P. 44）
（高感度処理のため画像が少し粗くなります）

撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。

●蛍光灯下で撮影すると、蛍光灯の特性によってシャッタースピードが速くなり、明るさや色合いが多少変化する場合がありますが、異常ではありません。

撮影時に赤っぽい縦すじ (スミア) が出る。

● CCD の特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。
周辺にムラが発生する場合がありますが、異常ではありません。
（動画では記録されますが、静止画には記録されません）

動画撮影が途中で止まる。

●マルチメディアカードを使っている。（動画撮影には対応していません）

●「画質設定」が「30fpsVGA」または「30fps16：9」になっている。（P. 47）
→パッケージなどに「10MB/s」以上の記載のある SD メモリーカードを使う。

●カードの種類により、記録後しばらくアクセス表示が出たり、
途中で動画撮影が終了する場合があります。

液晶モニターについて

電源が入っているのに、ときどき消える。

●エコモードに設定している。（P. 20）（フラッシュ充電中、液晶モニターが消灯します）

●撮影後、次の撮影ができるまで画面が消えます。
（内蔵メモリー使用時は最大約 6 秒間）

明るさが不安定になる。

●シャッターを半押ししたときに絞り値を設定するためです。
（撮影画像に影響はありません）

室内でちらつく。

●電源周波数が 50 Hz の地域では、ちらつく場合があります。
（蛍光灯の影響を補正するため）

明るすぎる、または暗すぎる。

●液晶モニターの明るさを調整する。（P. 20）

●パワー LCD、またはハイアングルモードになっている。（P. 34）

●本体内部の温度が低いとき、少し暗くなります。温度が上がると明るくなります。

液晶モニターについて（続き）

黒、赤、青、緑の点やノイズが現れる。液晶モニターを押さえるとムラが出る。

●故障ではありません。記録されませんので、安心してご使用ください。

日付や年齢表示が出ない。

●撮影時は、現在日時、トラベル経過日数 (P. 48)、シーンモードの「赤ちゃん」や「ペット」(P. 44) の月齢や年齢は、起動時や設定後、モード切換後などに約 5 秒間のみ表示されます。常時表示することはできません。

フラッシュについて

発光しない。

●発光禁止「⊛」に設定している。(P. 36)

●オート「⚡A」のときは条件によって光らないことがあります。

●動画撮影モード「🎞」、シーンモードの「風景」、「夜景」(P. 42)、「花火」、「星空」、「空撮」、「高感度」(P. 44) では発光しません。

２回発光する。

●赤目軽減になっている。(P. 36)
(瞳が赤く写るのをおさえるため 2 回発光します)

再生について

画像が勝手に回転する。

●「回転表示」を「ON」にしている。(P. 66)
(縦に構えて撮影した画像を自動回転して表示します。本機を上や下に向けて撮影すると、縦に構えたと認識する場合があります)
→「画像回転」で回転する。(P. 66)

再生できない。

●モードダイヤルが「▶」以外になっている。

●内蔵メモリーまたはカードに画像がない。(カードが入っている場合はカードの、入っていない場合は内蔵メモリーの画像を再生します)

フォルダー・ファイル番号が「ー」で表示される。画像が黒く表示される。

●パソコンで編集、または他機で撮影した。

●撮影直後にバッテリーを外した。または、残量が少ないバッテリーで撮影した。
→削除するには：「フォーマット」を行う。(P.73)

カレンダー再生で、撮影日と違う日付に表示される。

●パソコンで編集、または他機で撮影した。

●「時計設定」が正しくない。(P. 16)
(パソコンの時計と異なる場合、一度パソコンにコピーした画像を本機に戻してカレンダー再生すると、撮影日と違う日付で表示されることがあります)

Q&A 故障かな？と思ったら（続き）

テレビ、パソコン、プリンターについて

テレビに画像が出ない。画面が流れたり色が付かない。

●正しく接続していない。（P. 79）
●テレビの入力切換を外部入力にしていない。
●「ビデオ出力」を「NTSC」に設定していない。（P. 22）

テレビ画面と液晶モニターの表示が違う。

●テレビの機種によっては、正しい横縦比にならなかったり、端が切れることがあります。

テレビで動画再生できない。

●テレビにカードを挿入している。
→ AV ケーブル（付属）で接続し、本機で再生する。（P. 79）

テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。

●「TV アスペクト」を確認する。（P. 22）

パソコンに画像を転送できない。

●正しく接続していない。（P. 74）
●パソコンが本機を正常に認識しているか確認する。（別冊「パソコン接続編」）

パソコンにカードが認識されない。（内蔵メモリーになっている）

● USB 接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態で再度接続する。

パソコンの画像をカメラで再生したい。

●付属のソフトウェア PHOTOfunSTUDIO（フォトファンスタジオ）-viewer（ビューワー）- を使ってパソコンからカメラにコピーする。メモ画像にするには、ソフトを使ってパソコンからカードへコピーし、再生メニューの「コピー」（P. 73）でメモ専用フォルダーにコピーする。

プリンターに接続してもプリントができない。

● PictBridge 対応機を使用していない。
●モードダイヤルが「[プリントアイコン]」以外になっている。

プリントすると、画像の端が切れる。

●プリンターにトリミングやふちなし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントする。
（プリンターの説明書をお読みください）
●「アスペクト設定」「16:9」で撮影した。（P. 51）
→お店に依頼した場合、16：9 のサイズに対応しているか確認する。

その他

メニューが英語で表示される。

● 「言語設定」で「日本語」を選ぶ。(P. 22)

本機を振ると「カタカタ」と音がする。

●レンズが移動する音で、故障ではありません。

オートレビューの設定ができない。

● 「オートブラケット」(P. 38)、「連写」(P. 55)、シーンモードの「自分撮り」(P. 42)、動画撮影モード「[動画]」(P. 47)、および音声記録が「ON」(P. 53) の時は設定できません。

暗い場所でシャッターを半押しすると、赤いランプが点灯する。

● 「AF 補助光」を「ON」にしている。(P. 56)

AF 補助光が点灯しない。

● 「AF 補助光」を「OFF」にしている。(P. 56)

●明るい場所、およびシーンモードの「風景」、「夜景」、「自分撮り」(P. 42)、「花火」、「空撮」(P. 44) では点灯しません。

本機が熱くなる。

●ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

レンズ部から「カチッ」と音がする。

●明るさが変化した場合、レンズ部から音がして、液晶モニターの明るさが変わるときがありますが、これは、絞り値を設定するためです。(撮影に影響はありません)

時計が合っていない。

●長期間放置した。→再度時計を設定する。(P. 16)
(時計設定せずに撮影すると「0. 0. 0 0:00」の日付になります)

●時計設定に時間がかかった。(その分時間がずれます)

ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色がつく。

●倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。(P. 27)

ファイル番号が連続して記録されない。

●新しいフォルダーが作成される場合は、ファイル番号がリセットされます。(P. 75)

ファイル番号がさかのぼって記録される。

●電源を切らずにバッテリーを抜き差しした。
(フォルダー・ファイル番号を正しく記録できないと、番号がさかのぼって記録される場合があります)

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

●長時間、連続して使用すると本体が温かくなりますが、異常ではありません。
●手ブレを防ぐために、三脚を使い、安定した場所に設置することをおすすめします。（特に、望遠やシャッタースピードが遅い撮影時、セルフタイマー使用時）
●磁気や電磁波、電波、高電圧による画像や音声の乱れを防ぐために、テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでは使用しない。上記影響で正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプター（別売：DMW-AC5）を抜き、再度取りつける。
●付属のコードやケーブルを使用し、延長して使わない。
●殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない。（変質や塗装はがれの原因になります）
●画像は、電子情報技術産業協会（JEITA）の DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）規格に準拠する。

お手入れのとき

●バッテリーや AC アダプター（別売：DMW-AC5）を外す。
●ベンジンやシンナー、アルコール、台所用洗剤、化学雑巾などを使わない。（変質、塗装はがれの原因になります）
●指紋やほこりは、柔らかい乾いた布でふく。汚れがひどいときや、海水や雨水などは、ぬらしてよく絞った布でふき、その後、乾いた布でふく。

しばらく使わないときは

●バッテリーとカードは抜いておく。
（特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります）
●ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
●押し入れなどでは、乾燥剤（シリカゲル）とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく（15℃～ 25℃）、湿気の少ない（湿度 40% ～ 60%）温度変化の少ない場所で保管する。
●１年に１回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。

カードについて

●カードやデータの破損を防ぐために
- 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
- 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
- カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。

●メモリーカードを廃棄／譲渡するときのお願い
- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。

廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

バッテリーについて

- 使用後は、バッテリーキャリングケースに入れて保管する。（P. 7）
- 落下などで破損や変形（特に端子部）したら使わない。（故障の原因になります）
- 不要になったら環境保護のため、端子部をテープで絶縁し、最寄りの電池リサイクル協力店で処分する。（ホームページ http://www.jbrc.net/hp 参照、2007 年 3 月現在 ）
- 記録可能枚数　約 270 枚(P. 14)は CIPA※規格に基づく値(通常撮影モード[📷]のとき)
  CIPA 規格：当社製 SD メモリーカード（16MB）使用・温度 23℃・湿度 50%･液晶モニター ON･手ブレ補正「MODE1」･電源を入れ、30 秒後に撮影･30 秒に 1 回撮影･フラッシュを 2 回に 1 回フル発光･撮影ごとに､ズーム操作(W 端→ T 端、または T 端→ W 端)･10 枚ごとに電源を切り、バッテリーを冷ます。
  ※カメラ映像機器工業会 Camera & Imaging Products Association の略称
- 充電するときは
  - 端子部の汚れを乾いた布で取る。
  - AM ラジオからは 1 m離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
  - 内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
  - 充電したら、必ず電源コンセントから抜く。（放置すると、最大 0.1W 電力消費）

- SDHC ロゴは商標です。
- Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
- Macintosh、Mac OS は Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。
- LEICA/ ライカは、ライカマイクロシステム IR GmbH の登録商標です。
- ELMAR/ エルマーは、ライカカメラ AG の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

■このマークがある場合は

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

記録可能枚数・記録可能時間

■記録可能枚数（静止画：枚）

以下の設定により、枚数は変わります。

●アスペクト設定（画像の横縦比　4:3 3:2 16:9 ）（P. 51）
●記録画素数（画像の大きさ　7M ～ 0.3M EZ）（P. 52）
●クオリティ（画質　高画質アイコン：高画質　標準画質アイコン：標準画質）（P. 53）

アスペクト設定		4:3											
記録画素数		7M (3072×2304)		5M EZ (2560×1920)		3M EZ (2048×1536)		2M EZ (1600×1200)		1M EZ (1280×960)		0.3M EZ (640×480)	
クオリティ		高画質	標準画質	高画質	標準画質	高画質	標準画質	高画質	標準画質	高画質	標準画質	高画質	標準画質
内蔵メモリー		2	6	4	9	7	15	12	24	19	36	61	100
カード	16MB	3	7	5	10	8	16	13	27	21	40	68	110
	32MB	7	16	11	23	18	36	29	58	45	85	145	230
	64MB	16	34	24	48	38	75	61	120	93	175	290	480
	128MB	35	69	50	99	78	150	125	240	190	350	600	970
	256MB	68	135	98	190	150	290	240	470	370	690	1170	1900
	512MB	135	270	195	380	300	590	480	940	730	1370	2320	3770
	1GB	270	540	390	770	600	1180	970	1880	1470	2740	4640	7550
	2GB	550	1090	790	1530	1220	2360	1920	3610	2920	5120	8780	12290
	4GB	1090	2150	1560	3010	2410	4640	3770	7090	5740	10050	17240	24130

■記録可能時間（動画）

画質設定		30fpsVGA	10fpsVGA	30fpsQVGA	10fpsQVGA
内蔵メモリー		—	—	23 秒	1 分 13 秒
カード	16MB	6 秒	26 秒	26 秒	1 分 23 秒
	32MB	17 秒	59 秒	59 秒	2 分 55 秒
	64MB	39 秒	2 分	2 分	6 分
	128MB	1 分 23 秒	4 分 10 秒	4 分 10 秒	12 分 20 秒
	256MB	2 分 45 秒	8 分 10 秒	8分 10 秒	24 分
	512MB	5 分 30 秒	16 分 20 秒	16 分 20 秒	47 分 50 秒
	1GB	11 分	32 分 50 秒	32 分 50 秒	1 時間 35 分
	2GB	22 分 30 秒	1 時間 7 分	1 時間 7 分	3 時間 15 分
	4GB	44 分 20 秒	2 時間 11 分	2 時間 11 分	6 時間 22 分

●動画を連続して記録できるのは、約 2GB までです。
停止後続けて記録したいときは、再度[シャッター]を押してください。
記録可能時間も約 2GB で計算（目安）されます。

数値は目安です。撮影の条件、カードの種類、被写体により変化します。
液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。

● 「EZ」付きの記録画素数では、EX 光学ズーム（P. 27）ができます。
ただし、シーンモードの「高感度」（P. 44）では使えません。

	3:2						16:9						かんたんモード [♥]時		
	7M (3216×2144)		4.5M EZ (2560×1712)		2.5M EZ (2048×1360)		6M (3328×1872)		3.5M EZ (2560×1440)		2M EZ (1920×1080)				
	3	6	5	10	8	16	3	7	6	12	11	22	2	16	100
	3	7	5	12	9	18	3	7	7	14	12	25	3	18	110
	8	16	13	26	20	40	9	18	15	31	27	53	7	40	230
	16	35	27	54	43	83	19	35	32	64	57	105	16	83	480
	35	71	56	110	88	165	35	79	66	130	115	220	35	165	970
	70	140	110	210	170	330	78	150	130	250	230	430	68	330	1900
	140	270	210	430	340	650	155	300	250	510	450	860	135	650	3770
	280	550	440	860	680	1310	310	610	520	1020	910	1720	270	1310	7550
	560	1110	890	1700	1360	2560	630	1220	1040	2040	1800	3410	550	2560	12290
	1110	2190	1740	3350	2680	5020	1110	2410	2040	4020	3540	6700	1090	5020	24130

	30fps16:9	10fps16:9
	—	—
	5 秒	22 秒
	14 秒	50 秒
	33 秒	1 分 46 秒
	1 分 11 秒	3 分 35 秒
	2 分 20 秒	7 分
	4 分 40 秒	14 分
	9 分 20 秒	28 分 10 秒
	19 分 20 秒	57 分 30 秒
	38 分	1 時間 53 分

画質設定の目安（P. 47）

●動画のなめらかさ(fps：1 秒間当たりのコマ数)

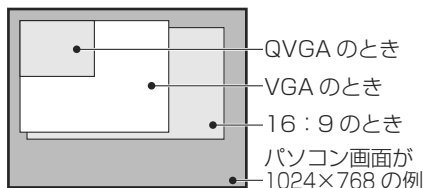
30fps ←→	10fps
なめらか	なめらかさに欠ける※1

●画像の大きさ

VGA	QVGA	16：9
大きい	小さい※1	大きい(ワイド)

※1 メール添付や長時間記録向き。

●パソコン画面に表示したときの大きさの例

仕様

電源 消費電力	●DC 5.1 V ● 1.7 W（撮影時） ●0.8 W（再生時）

カメラ有効画素数	720 万画素
撮像素子	1/2.35 型 CCD 総画素数 850 万画素、原色カラーフィルター
レンズ	光学 10 倍ズーム f=4.6 ～ 46mm（35mm フィルムカメラ換算：28 ～ 280mm）/ F3.3 ～ F4.9
デジタルズーム	最大 4 倍
EX 光学ズーム	最大 15 倍
フォーカス	通常 / マクロ 9 点 /3 点 (H) /1 点 (H)/1 点 / スポット
撮影範囲	●通常　50cm（W 端時）/ 2m（T 端時）～∞ ●マクロ・かんたん・動画 インテリジェント ISO 感度 メモ　5cm（W 端時）/ 2m（T 端以外）～∞（ただし、T 端 1m ～∞） ●シーンモード　上記範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影	848 × 480 画素※ /640 × 480 画素※ /320 × 240 画素（※カード使用時のみ） 30 コマ / 秒、10 コマ / 秒 音声付き
連写撮影	●速度 3 コマ / 秒（高速）、2 コマ / 秒（低速）、約 2 コマ / 秒（フリー連写） ●枚数 最大 7 コマ（スタンダード）、最大 5 コマ（ファイン）、内蔵メモリーまたはカードの空き容量に依存（フリー連写）
ISO 感度	オート /100/200/400/800/1250 （高感度モード：3200）
シャッタースピード	8 ～ 1/2000 秒 星空モード：15 秒、30 秒、60 秒 動画：1/30 ～ 1/20000 秒
ホワイトバランス	オート（AWB）/ 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / セットモード
露出	オート（プログラム AE） 露出補正（1/3EV ステップ、－ 2EV ～ ＋ 2EV）
測光方式	評価測光 / 中央重点測光 / スポット測光
液晶モニター	3.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶（約 23.0 万画素） （視野率約 100%）

フラッシュ	**撮影可能範囲**：約 60 cm ～ 4.2 m（W 端、「ISO AUTO」設定時）
	オート / 赤目軽減オート / 強制発光（赤目軽減強制）/ 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
マイク	モノラル
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー（約 12.7MB）/SDHC メモリーカード / SD メモリーカード / マルチメディアカード（静止画のみ）
記録画素数	**静止画** ●アスペクト「4:3」設定時 3072×2304 画素 /2560×1920 画素 /2048×1536 画素 / 1600 × 1200 画素 /1280 × 960 画素 /640 × 480 画素 ●アスペクト「3:2」設定時 3216 × 2144 画素 /2560 × 1712 画素 / 2048 × 1360 画素 ●アスペクト「16:9」設定時 3328 × 1872 画素 /2560 × 1440 画素 / 1920 × 1080 画素 **音声付き動画**（※カード使用時のみ） 848 × 480 画素※ /640 × 480 画素※ /320 × 240 画素
クオリティ（圧縮率）	ファイン / スタンダード
記録画像ファイル形式	**静止画**：JPEG（DCF 準拠、Exif2.21 準拠）/DPOF 対応 **音声付き静止画**：JPEG（DCF 準拠、Exif2.21 準拠）＋ QuickTime **音声付き動画**　：QuickTime Motion JPEG
インターフェース	**デジタル**：USB 2.0（Full Speed） **アナログビデオ / オーディオ**：NTSC/PAL コンポジット（メニュー切換）/ オーディオライン出力（モノラル）
端子	DIGITAL/AV OUT：専用ジャック（8 pin） DC IN　：専用ジャック（2 pin）
寸法（突起部除く）	約幅 105 mm×高さ 59.2 mm×奥行き 36.7 mm
質量	約 232 g（本体）　約 257 g（カード、バッテリー含む）
推奨使用温度	0 ～ 40℃
許容相対湿度	10 ～ 80%

■バッテリーチャージャー（DE-A45A）

定格出力	DC4.2V　0.8A（充電時）
定格入力	AC100-240V　50/60Hz
入力容量	15VA

■バッテリーパック（DMW-BCD10）

電圧	3.7V
容量	1000mAh
種類	リチウムイオン

保証とアフターサービス

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず 、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間
(「本体」にはソフトウェアの内容は含みません)

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルカメラ
品　番	DMC-TZ3
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。なお、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　06-6907-1187

FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

保証とアフターサービス（続き）

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

● 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

青森	青森市大字浜田 字豊田364 ☎ (017)775-0326	岩手	盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎ (019)645-6130	山形	山形市平清水1丁目 1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市東通り2丁目 1-7 ☎ (018)831-7833	宮城	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	福島	郡山市亀田1丁目 51-15 ☎ (024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎ (028)689-2555	埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5171
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	千葉	千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎ (043)208-6034	神奈川	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎ (029)864-8756	東京	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	新潟	新潟市東明1丁目 8-14 ☎ (025)286-0171

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎ (076)280-6608	長野	松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	岐阜	岐阜市中鶉4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目 1-4 ☎ (076)424-2549	静岡	静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	高山	高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目 14 ☎ (0776)25-5001	愛知	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	三重	津市久居野村町 字山神421 ☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎ (077)582-5021	大阪	大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	奈良	大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770	兵庫	神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

よくお読みください

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区					
鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	出雲	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	広島	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	浜田	浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	山口	山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江	松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	岡山	岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236		

四国地区					
香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	高知	高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島	徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253				

九州地区					
福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	天草	本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	大島	名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区		
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0906

さくいん

●液晶モニターの表示について（P. 82）

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら・わ行

英数字

お役に立つ、いろいろな情報は次のサイトで！	
■撮りかたのコツや新製品情報	http://panasonic.jp
■サポート情報	http://panasonic.jp/support

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	●電源プラグが異常に熱い ●煙が出たり、異常なにおいや音がする ●画像が乱れたり、きれいに映らない ●水や異物が入ったり、その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMC-TZ3
販売店名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

QuickTime および QuickTime ロゴは、ライセンスに基づいて使用される Apple Computer, Inc. の商標または登録商標です。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

M0207KZ1027 (30000Ⓑ)